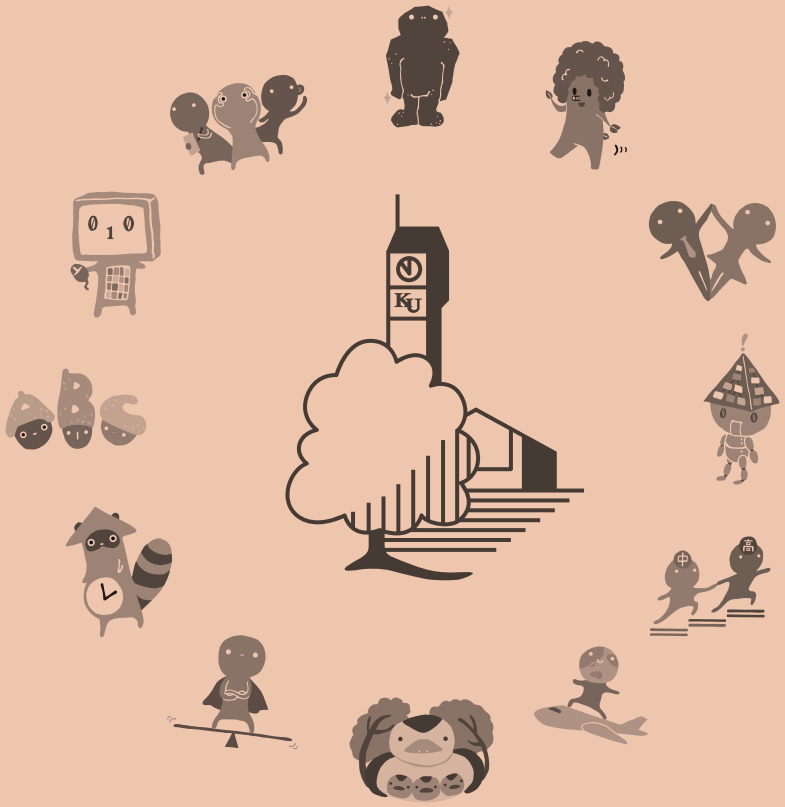
神奈川大学附属中·高等学校

2019年度入試〈資料集〉



http://www.fhs.kanagawa-u.ac.jp/

目　次

神奈川大学附属中・高等学校の教育 …… 2
学力サポート …… 7
2019年度生徒募集概要 …… 8
2018年度中学入試の結果 …… 9
6年間の応募状況の推移 …… 10
教科別入試の傾向 …… 12
なんでもQ&A …… 16

資料編

・中学校・高等学校カリキュラム …… 25
・各教科6年間の歩み …… 26
・大学入試の合格状況 …… 28
・現役生の進路状況 …… 29
・部活動 …… 30
・6年間総費用 …… 31
・2018年度学校暦 …… 32
・在校生の通学地域 …… 34

神奈川大学附属中・高等学校　校歌

作詞：栗原 一登
作曲：團 伊玖磨

一、仰ぎ見ん　友よ　わが空
大いなり　富士も遥けく
丘に立てば　夢は未来に
翔けめぐる　若き喜び

君よ　われ　君よ　ここに学びて
創造の日々を　日々を築かん

二、風雪の　四季を　耐え来て
光呼ぶ　公孫樹の並木
わが道は　世界に開き
新たなる　時代を招く

君よ　われ　君よ　試練を愛し
剛健の姿勢　姿勢正さん

三、建学の　歴史　讃えて
わが菊よ　久遠に薫れ
歌え　われ等　進取の青春を
高らかに　学園　ここに

君よ　われ　君よ　友垣堅く
躍進の明日を　明日を求めん

沿革

1984年11月19日	認可（開校記念日）	1988年4月1日	男女共学に移行
1985年 4月 1日	男子校として開校	2004年4月1日	併設型中高一貫校に移行

神奈川大学附属中・高等学校の教育

神奈川大学の教育理念 「**教育は人をつくるにあり**」（神奈川大学創立者 米田吉盛先生の言葉より）

教育目標	**21世紀を生き抜く人間力の育成** 「主体的に考え、判断し、行動できる人の育成」「創造性と豊かな人間性の涵養」「自己実現のための学力の伸長」

人類の遺産を鑑賞し「もの」を創る力 「音楽/美術/技術・家庭」	**心身の健康、自他の尊重** 「保健体育」
理屈抜きの基礎学力 「国語/数学/英語/情報」	**人類の遺産を継承・発展する力** 「社会/理科」

自立と共生

協力と共同
社会生活の模擬体験

文化理解
感性の陶冶

グローバル化への対応	ICT教育の取り組み	時間割に組み込まれた活動	学力の保証	校外学習	生徒会活動	鑑賞教室
e-learningによる英語4技能の強化 中1〜高3 エンパワーメントプログラム 中3〜高2 〈希望制〉 英国語学研修 中3・高1 〈希望制〉 Breakthrough English Camp 中1〜3 （全員参加）	プログラミング、Webページ制作、プレゼンテーションなどのデジタルコンテンツの制作 テーマ別グループ研究などの探求学習	**第3ブロック** **「飛躍期」Determination** 進学意思の決定	講習 個人塾	海外研修 〈国際理解・異文化理解〉 〈希望制〉	生徒会委員会 部活動 同好会	ミュージカル 能楽 歌舞伎 文楽
	1人1台タブレットPCを使った授業や宿題 プログラミングやプレゼンテーションなどのICTリテラシーの向上	**第2ブロック** **「発展期」Simulation** 学部学科と職業の理解	講習 補習	沖縄校外学習 奈良・京都校外学習		
	情報モラルとタッチタイピングの習得 iPadを使ったアクティブ・ラーニング 1人1台タブレットPCを使った授業や宿題	**第1ブロック** **「成長期」Motivation** 将来への夢と職業観	補習	北海道スキー教室 東北ファームステイ 〈希望制〉 地域調査		

建学の精神

質実剛健 *Simple and Sturdy*	積極進取 *Forward-thinking*	中正堅実 *Balanced and Steady*
「質実」とは、学校生活を基盤に一日の生活リズムをつくり、それを実践する態度のことです。「剛健」とは、質実な生活を送ることによる心身ともに健全であることです。心身の健全さは、集中力の持続や心のゆとりにつながります。それが楽しい学校生活を実現することになります。	何事にも失敗を恐れずに立ち向かうチャレンジ精神・態度のことです。この精神は、自分自身を見つめ直し、新たな自分の発見へとつながります。また、グローバル時代に欠かせない精神・態度でもあります。	行動・実践にあたって、思考し、判断する時の基本的精神・態度のことです。情報が氾濫し、多様な価値観が混在する現代社会にあって、他者への受容力と情報の分析による判断とそれに基づく行動力・実践力はより信頼ある行動・実践となり、人間的価値を高めることにつながります。

分かりやすく示し、さまざまな場面で確認

1 本校の特色

① 建学の精神：《質実剛健・積極進取・中正堅実》→これを現代的に解釈して教育の基本としている ▶P. 2
② スローガン：《足を大地に手を大空に》→1998年に生徒会の提案で定めた
③ シンボル：正門を入って銀杏並木の先にそびえる**「くすのき」**
④ スクールカラー：区名と自然環境にちなんだ**「緑」**
⑤ 制服：ブレザー・スラックス・スカート・セーター等は指定、コート・靴は自由
⑥ 週6日制：毎週土曜日は4限まで通常授業

2 大学の附属校とは

① 学校法人神奈川大学が、「神奈川大学」とともに「附属中学校」と「附属高等学校」を設置しています。
② 神奈川大学へは、推薦入学制度（第Ⅰ期（11月）と第Ⅱ期（3月））があり、第Ⅰ期の推薦入学では、他大学受験希望者に対し、入学権利を留保したままでの併願が認められています。

3 中高一貫教育

① 制度について

- 完全な中高6年間一貫システム。
- 学校教育法に規定された「併設型中高一貫校」。
- 中学卒業式、高校入学式は実施していません。
- 高校での生徒募集は、行っていません。
- 附属中学校から附属高等学校への進学時には、選抜試験を行いません。入学金はありません。

② 学習について（2年ごとの3ブロック制） ▶P. 26〜27

[中1〜2「成長期」] 教科・科目の基礎・基本の徹底した理解に努めています。そのため、毎週金曜日に英語・数学の週末確認テストWeekend Tests（WET）を行い、土曜日の午後に「勉強会」（補習）を実施して基礎学力の定着を図ります。

[中3〜高1「発展期」] センター試験に対応できる学力を養成しています。そのため、計画的な「0限・7限講習」及び、長期休業期間の講習を実施しています。

[高2〜3「飛躍期」] 多様な講習を通して生徒の進路を確かなものとするため、「通年講習」を0限・7限に実施し、長期休業期間には講習を実施しています。高3では、時間割の空き時間を活用して、「個人塾」(個人支援の講座)を開設し、生徒の多様な受験に対応します。

③ **カリキュラムについて** ▶ P. 25

・中学校では、基礎学力教科を標準より多く学習できるように編成するとともに、実技・実習教科も大切にしています。保健体育科、音楽科、美術科、技術・家庭科の充実度は本校の特色のひとつです。
・高等学校では、２年までに必履修科目の大半を履修し、３年次には、各自の進路に合わせた科目選択ができるように編成しています。特に、高２・３に設けた学校設定科目の「特講」は、受験を支援する本校の特色のひとつです。
・生徒の学力保証を目的に、中３の英語の授業では２クラスを３分割、高１では１クラスを２分割しています。
・中１～高１までの４年間を通して、「総合的な学習の時間」に、１クラスを２分割して、２人のネイティブの先生が担当して英会話を行っています。
・体育系や芸術系への進学希望者のためにも、個別進学支援の授業を実施しています。
・ICT教育では中１からiPadを使ってアクティーブ・ラーニングを実施しています。中２より1人1台のタブレットPCを使って、授業や宿題を展開していきます。
・情報教育は中１より情報モラルを身につけさせ、インターネットやSNSを正しく活用する能力を育みます。タッチタイピングの習得、レポート作成、グラフや表計算、ポスター制作、音楽編集、Webページ制作、センサーロボットを使ったプログラミング、宇宙エレベータをテーマとした問題解決学習まで行います。
・「教科学習」のほか、「進路指導」「生活指導」「校外学習」等のすべてを、２年ごとにきざむ３段階でゆとりをもって積み上げています。

④ **進路指導について** ▶ P. 23

・本校の進路指導の目的は、生徒が6年間をかけて自分の個性に合った「生き方」を見いだし、「生き方」から「職業」を模索し、結果としてどの大学のどの学部に進学すべきかを決められるよう支援しています。
・保護者や卒業生にリゾースティーチャーの登録をお願いし、中1と中3を対象に、自身の職業観、苦労、やり甲斐といった内容の講演を聴く機会を設けています。
・「大学」を理解するために、中３では施設見学を軸とした「神奈川大学見学会」、高２では大学の授業を実際に受講する「一日神奈川大学生」を行っています。

4 男女共学

① 完全な共学、共修、ジェンダーバイアスを設けない学校生活の実践として、体育実技および技術・家庭科実習の共修などを行っています。
② 体育実技については、開校以来の授業の経験から、男女共修が可能な種目を選び、６年間の指導計画を作成して実施しています。水泳では、個人メドレーができるように４泳法を身に付けることに取り組んでいます。
③ 中学校保健体育で必修化された武道は、本校では剣道とし、中２・中３で学習します。
④ 家庭科の調理・被服実習も男女共修で行い、調理実習には実習助手を付けて充実化を図っています。

5 人間教育

① **建学の精神に基づいた教育をあらゆる場面で展開**

・「質実剛健・積極進取・中正堅実」を現代的に置き換え、分かりやすく示しています。▶ P. 2
・情報モラルを身につけ、ICTリテラシーを習得し、アウトプットする力を育むことを重視しています。
・中１の防災教室では、防災意識の高揚を図るとともに、災害時のボランティア活動が行える訓練を行っています。▶ P. 6
・中２では、講演やブラインド体験などの福祉体験学習、新生児医療についての講演会「いのちの授業」を行っています。
・「ＫＵプライド」を合言葉としたマナー実践のような、生徒の自主的な活動を支援しています。

② **校外学習は、調査・検証・発表を軸にした体験学習（いわゆる「修学旅行」は実施しません）** ▶ P. 2

[第1ブロック] 地域調査（中1・2）／北海道スキー教室（中2）
希望者による「東北ファームステイ」（中2）
[第2ブロック] 奈良・京都校外学習（中3）／沖縄校外学習（高1）
希望者による本校推奨の「英国語学研修」（研修地：ヨーク・エディンバラ）（中3・高1）
[第3ブロック] 海外研修（学校設定科目「国際理解」とし、選択希望者を対象）（高1の3月～高2の4月）
・芸術科と英語科によるルネサンスを中心テーマにした英国・イタリア研修
・理科による自然及び生物観察を中心テーマにしたハワイ島研修
・地理歴史科・公民科による歴史と現代及び経済発展を中心テーマにしたベトナム・カンボジア研修

③ **生徒の心の支えは２段階で対応**

第1段階　学級担任・部活動顧問によるカウンセリング
第2段階　専門家（スクールカウンセラー）によるカウンセリング
※保健室には養護教諭のほかに看護師を配置し、専門的な医療知識をカバーしています。

④ **プライバシーを守る態度**

・生徒住所録を配付しません。
・「生徒家庭調査書」に家族の学歴・職業は記載しません。
・大学合格の校内掲示及び広報誌掲載は、本人の希望によって行っています。

6 部活動 ▶ P. 30

・広大な敷地と多様な施設を使用し、１０の運動部と８つの学芸部が活動しています。
・夏季休業期間には、合宿（中1を除く）を行う部もあります。
・顧問のほかにコーチ制度も設け、専門的な技術指導が行える体制を整えています。

7 生徒の安全管理

① 大地震発生時の対応

政府は「南関東でM7クラスの地震が発生する確率は30年以内に70%」としています。本校では年2回の防災訓練ばかりでなく、広大な敷地を利用して神奈川県消防署による防災ヘリ離発着訓練も行われています。

校舎は全館耐震構造で、すべての窓ガラスに飛散防止フィルムを貼り、安全な教室環境となっています。

② 防災教室の実施

中1を対象に防災教室を開き、テントや簡易トイレの設置、発電機を利用して浄化したプールの水の試飲、防寒シートを用いた模擬避難体験、アルファ米試食等を行います。

③ 備蓄・緊急用機材

以下のものを備蓄倉庫と緊急用機材倉庫（計4棟設置）に常備しています。

食　料：ビスケット・クラッカー、アルファ米、パン（生徒一人1日3食3日分）
飲　料：保存水（生徒一人3L）　その他50mプールの浄水装置もあります。
寝　具：防寒シート（全校生徒分）
その他：炊き出し用品、発電機、水中ポンプ、浄水装置、簡易トイレ(10台)、フィールドナイフ、ランタン等

④ 学校緊急情報の配信システム

気象警報が発令されたときや緊急事態の発生による下校が実施される場合には、学校公式HPに授業や学校行事の実施可否を掲載します。その他にも「ウェブでお知らせ」による当該生徒へのメール配信を導入しています。安否確認システム「レスキューナウ」も採用しています。

⑤ 警備体制

警備員が24時間常駐しています。女性警備員も配置し、校舎内外の警備に当たっています。来校者は、「来校者」「見学者」「取引業者」等のプレートを付けています（在校生の保護者は、緑会（PTA）が会員証を発行し、それを来校時に付けます）。

⑥ 教員や生徒への講習

教員は救急蘇生法やAED（5台設置）の使用方法を含めた普通救命講習を受けています。同様に、運動部部員を中心に$\frac{1}{3}$の生徒も受講しています。また、アレルギーのある生徒のアナフィキラシーショックに備えて、エピペン®練習用トレーナーを用いた教員向けの講習を実施しています。

学力サポート

成績上位の生徒のための特進クラスや習熟度別クラス編成は展開していません。入学した生徒全員の学力確保や進学保証をするプログラムを用意しています。

週末確認テストWeekend Tests（WET）（中1・2）

成長期の英語・数学においては日々の学習の積み重ねが必要です。中1・2に対して、金曜日の1限にWETを実施し、1週間の基本的な学習理解がなされているかをチェックして生徒の遅れを見逃さないようにします。なお中3・高1では放課後に小テストを行って理解度チェックをしています。

土曜勉強会（補習）（中1・2）

WETの結果により理解度が不十分であると判断した生徒を指名して、土曜日の午後に「勉強会」（補習）を実施し、きめ細かく学習状況を見ていきます。また長期休業期間中に中1・2には英語・数学の理解の遅れを取り戻すために指名補習が行われます。

分割授業

総合（英会話）（中1〜高1）

週1回の英会話の授業において、1クラス（約36名）を2分割して小教室で授業を行っています。英語圏各国から来ているネイティブの教師とのコミュニケーション活動を積極的に取り入れています。

英語授業（中3・高1）

語彙数が多くなる中3あたりから理解度に差が出てきます。そこで本校では、第2ブロックの中3では2クラスを3分割、高1では1クラスを2分割してきめ細かい指導を行っていきます。

0限・7限講習（中3〜高3）

15:40から英語・数学・国語・地歴公民・理科を中心に講習を実施しています。7:30からの0限講習を受講する生徒もいます。なお、テキスト代が必要な場合はありますが、受講は無料です。

個人塾（高3）

生徒の選択科目の空き時間に実施する、自分が強化したい科目の教師との個別指導の時間のことを意味します。受験生である生徒のリクエストに応じた指導がなされます。

長期休業期間の講習（中3〜高3）

長期休業期間（夏季休業・冬季休業・学年末休業）に英語・数学・国語・地歴公民・理科の講習を開講しています。なお講習期間中の部活動は午後のみになります。

海外研修講座（事前学習）

海外研修は「国際理解」という学校設定科目1単位となるために、言語やそれぞれの地域の文化、自然、歴史、経済等に関する事前学習の講座を開いています。

Lunch Time English Conversation（全学年）

毎週、ネイティブの先生と食事をしながら、時節や社会の話題について英語で会話をする場を設けています。学年を越えた交流も生徒たちの楽しみとなっているようです。

2019年度 生徒募集 概要

日程	A日程	B日程	C日程
学力検査日	2月2日(土) 8:25 集合	2月3日(日) 8:25 集合	2月5日(火) 8:25 集合
募集人数	男女140名 (帰国生徒10名を含む)	男女45名	男女15名
出願資格	2019年3月　小学校卒業見込みの児童		
出願期間	1月7日(月)10:00～ 1月31日(木)19:00まで	1月7日(月)10:00～ 2月2日(土)19:00まで	1月7日(月)10:00～ 2月4日(月)19:00まで
出願方法	全日程インターネット出願になります。 詳細は本校ホームページの「インターネット出願手続きの流れ」をご覧ください。		
帰国生入試 出願書類	帰国生入試をご希望の方は、インターネットでの出願に加え、以下の2点の書類を簡易書留にて郵送してください。 (1) 帰国生報告書(本校所定用紙) ※ 本校ホームページからダウンロードして記入してください。 (2) 海外在留証明書(保護者勤務先作成、書式自由)		
入学検定料	A日程　25,000円	B日程　25,000円	C日程　25,000円
	50,000円 ※ 3日程同時出願に限り、割引となります。		
試験科目	国語50分・算数50分 理科40分・社会40分 各100点	国語50分・算数50分 理科40分・社会40分 各100点	国語50分・算数50分 各100点 理科・社会　合わせて50分 各50点
合格発表	本校ホームページ 2月2日(土) 22:00	本校ホームページ 2月3日(日) 22:00	本校ホームページ 2月5日(火) 16:30
合格書類 交付日時	2月4日(月) 10:00～11:00		2月5日(火) 16:30～18:00
入学手続	2月6日(水)14:00までに入学金230,000円を銀行(ゆうちょ銀行は除く)で振り込んでください。		

初年度納入金

納入金内訳		納入金額	納入期限
入学金		230,000円	2月6日(水) 14:00まで
学費	授業料	560,000円	※一括または分納についての詳細は、入学金納入後の事務手続きの際に、ゆうちょ銀行での「自動払込利用申込書」とともにお知らせいたします。
	施設設備資金	180,000円	
預り金		147,000円	
初年度納入金合計		1,117,000円	

※預り金として「生徒会費・学年活動費・校外学習費・Breakthrough English Camp費」を4月分学費と合わせて、「緑会(PTA)費」を5月分学費と合わせて払い込みいただきます。

※入学事務手続き日及び入学者登校日は、2月11日(月)です。

2018年度 中学入試の結果

日程		A日程			B日程			C日程		
		合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子
募集人数		140(10)			45			15		
応募者数		778(13)	440(6)	338(7)	606	317	289	514	286	228
受験者数		686(12)	382(6)	304(6)	370	187	183	258	152	106
合格者数		326(5)	186(1)	140(4)	79	29	50	16	10	6
実質倍率		2.1	2.1	2.2	4.7	6.5	3.7	16.1	15.2	17.7
入学予定者数		154(4)	86(1)	68(3)	50	21	29	6	6	0
合格最高点		341	341	336	336	329	336	265	265	237
合格最低点		260			262			223		
合格者平均点		284.0	284.0	284.0	282.4	279.3	284.2	229.9	230.1	229.5
受験者平均点		252.3	251.7	253.1	235.0	228.9	241.2	183.3	182.1	185.1
国語	合格者最高点	85	79	85	90	86	90	91	91	91
	合格者最低点	22	22	30	49	54	49	58	58	70
	合格者平均点	54.4	53.1	56.2	68.8	65.8	70.6	74.3	70.4	80.8
	受験者平均点	49.0	47.3	51.1	56.6	51.3	62.0	63.6	61.2	67.0
算数	合格者最高点	100	100	100	100	100	100	100	100	95
	合格者最低点	45	45	53	55	55	59	70	85	70
	合格者平均点	80.2	80.1	80.2	81.3	81.2	81.3	89.8	93.5	83.7
	受験者平均点	69.8	70.0	69.4	66.4	65.3	67.6	65.5	66.0	64.9
理科	合格者最高点	94	94	92	80	80	74	38	38	34
	合格者最低点	52	52	54	34	46	34	24	24	26
	合格者平均点	75.4	75.4	75.4	60.5	61.1	60.1	31.3	31.4	31.0
	受験者平均点	67.7	67.7	67.7	51.0	51.5	50.5	26.6	27.0	25.9
社会	合格者最高点	94	94	90	94	94	90	41	41	37
	合格者最低点	50	53	50	52	52	55	26	26	32
	合格者平均点	74.0	75.4	72.2	71.8	71.2	72.2	34.5	34.8	34.0
	受験者平均点	65.9	66.7	64.9	61.0	60.9	61.1	27.7	27.9	27.2
配点		国語・算数 理科・社会 各100点			国語・算数 理科・社会 各100点			国語・算数 各100点 理科・社会 各50点		
合計点		400点			400点			300点		
試験時間		国語・算数 各50分 理科・社会 各40分			国語・算数 各50分 理科・社会 各40分			国語・算数 各50分 理科・社会 合わせて50分		

(　)帰国生徒数

※入学者はA日程154名(4名), B日程50名, C日程6名, 追加合格者10名(男子7名, 女子3名), 合計220名

6年間の応募状況の推移

A日程（定員140名：含帰国生徒10名）

（ ）は帰国生徒数

年度	応募者数	応募倍率	受験者数	合格者数	実質倍率	入試ボーダーライン	受験者平均点
2018	778（13） 男440（6） 女338（7）	5.6	686（12） 男382（6） 女304（6）	326（5） 男186（1） 女140（4）	2.1 男2.1 女2.2	260〖65%〗	252.3 男251.7 女253.1
2017	824（14） 男465（6） 女359（8）	5.9	732（12） 男418（5） 女314（7）	316（8） 男177（3） 女139（5）	2.3 男2.4 女2.3	272〖68%〗	261.2 男261.6 女260.6
2016	775（10） 男451（4） 女324（6）	5.3	688（9） 男403（3） 女285（6）	313（4） 男189（0） 女124（4）	2.2 男2.1 女2.3	274〖69%〗	266.4 男266.8 女265.8
2015	723（14） 男407（5） 女316（9）	5.2	631（13） 男348（4） 女283（9）	313（7） 男195（2） 女118（5）	2.0 男1.8 女2.4	293〖73%〗	286.8 男291.1 女281.5
2014	705（7） 男405（5） 女300（2）	5.0	624（7） 男358（5） 女266（2）	310（6） 男188（4） 女122（2）	2.0 男1.9 女2.2	233〖58%〗	231.2 男233.8 女227.8
2013	866（15） 男483（6） 女383（9）	6.2	757（14） 男419（5） 女338（9）	278（4） 男162（1） 女116（3）	2.7 男2.6 女2.9	255〖64%〗	242.7 男243.8 女241.3

B日程（定員45名）

年度	応募者数	応募倍率	受験者数	合格者数	実質倍率	入試ボーダーライン	受験者平均点
2018	606 男317 女289	13.5	370 男187 女183	79 男29 女50	4.7 男6.5 女3.7	262〖66%〗	235.0 男228.9 女241.2
2017	695 男361 女334	15.4	377 男200 女177	72 男32 女40	5.2 男6.3 女4.4	287〖72%〗	254.9 男252.6 女257.5
2016	718 男405 女313	16.0	391 男208 女183	77 男28 女49	5.1 男7.4 女3.7	267〖67%〗	236.9 男231.0 女243.7
2015	697 男363 女334	15.5	362 男173 女189	77 男25 女52	4.7 男6.9 女3.6	262〖66%〗	233.2 男229.6 女236.6
2014	667 男354 女313	14.8	334 男177 女157	90 男48 女42	3.7 男3.7 女3.7	267〖67%〗	244.4 男242.3 女246.7
2013	791 男421 女370	17.6	443 男241 女202	80 男43 女37	5.5 男5.6 女5.5	255〖64%〗	223.0 男221.4 女224.9

C日程（定員15名）

年度	応募者数	応募倍率	受験者数	合格者数	実質倍率	入試ボーダーライン	受験者平均点
2018	514 男286 女228	34.3	258 男152 女106	16 男10 女 6	16.1 男15.2 女17.7	223〖74%〗	183.3 男182.1 女185.1
2017	627 男350 女277	41.8	309 男171 女138	17 男10 女 7	18.2 男17.1 女19.7	217〖72%〗	183.4 男182.7 女184.3
2016	594 男339 女255	39.6	277 男165 女112	17 男10 女 7	16.3 男16.5 女16.0	223〖74%〗	182.2 男178.5 女187.5
2015	566 男301 女265	37.7	234 男117 女117	17 男9 女8	13.8 男13.0 女14.6	227〖76%〗	187.5 男184.9 女190.2
2014	557 男284 女273	37.1	210 男101 女109	15 男 5 女10	14.0 男20.2 女10.9	127〖64%〗	98.9 男 96.6 女101.1
2013	676 男348 女328	45.1	329 男183 女146	15 男 3 女12	21.9 男61.0 女12.2	121〖61%〗	89.3 男85.8 女93.7

※C日程の2013～2014年は200点満点（国語・算数 各100点）、2015年以降は300点満点（国語・算数 各100点、理科・社会 各50点）

教科別入試の傾向

国語

【出題の基本方針】

国語の出題は、漢字・国語に関する基礎知識・説明的な文章・文学的な文章の４題で構成されます。特に奇をてらった問題ではなく、基礎的な読解力、言語についての知識を確認するものとなっています。

【出題内容と学習のポイント】

＜出 題 内 容＞

〔一〕漢字

小学校の学年別漢字配当表に示されている漢字から出題されます。解答は楷書で字形を整え、一点一画、丁寧に書きましょう。画数が変わると正解にはなりません。

〔二〕国語に関する基礎知識

慣用句や多義語の意味や用法、「ことばのきまり」などについて出題されます。語彙力を上げておくことが必要です。また、敬語や俳句（季語・切れ字）・短歌が出題されることもあります。

〔三〕説明的な文章

文章の中心の部分と付加的な部分、事実と意見を読み分けられるか、文章の構成や展開を正確にとらえられるか、文章に表れているものの見方や考え方を理解できるか、などが問われます。また字数制限のある記述のみならず制限の無いタイプのものも近年出題が増えています。

〔四〕文学的な文章

主に登場人物の心情について問うものが出題されます。とくに心情の変化やその要因、心情がどのようなかたちで作品に現れているかを問うものです。５０字程度の制限字数のある設問をはじめ、解答欄３行程度の字数制限の無いタイプのものも多く出題されます。

＜学習のポイント＞

得点に大きな差が生まれるのは記述問題です。解答に際しては設問の意図に沿った表現をしてください。例えば「～とはどういうことか」という問いには「～ということ。」のような文末の処理の仕方を、「どうして～したのか」と原因を問うものには「～だから。」など、それぞれにふさわしい文末を使い分ける必要があります。

【今年度の入試を振り返って】

＜大問・分野別正答率＞

日　程	A日程				B日程			
分　野	漢　字	基礎知識	説明的文章	文学的文章	漢　字	基礎知識	説明的文章	文学的文章
合格者	88.3%	64.9%	44.2%	53.9%	83.7%	67.4%	68.0%	63.6%
全　体	83.9%	59.9%	39.0%	47.9%	75.0%	50.9%	53.3%	53.3%

A日程…文章量が増加したため時間的に焦ってしまったのでしょうか、比較的容易に正解を選べるはずの問いまでミスをしている答案や、問われたことに正しく対応しない内容を記述している答案が目立ちました。

B日程…文学的文章では、登場人物の置かれた状況とその心情をリンクさせながら理解し、説明することを求めました。基礎知識問題では、求められていることが何なのか、理解できない受験生もいたようです。説明的文章では、記述問題で求められている複数の解答ポイントを漏れなく把握することができたかどうかが、合否を分けた印象です。

【受験生へのメッセージ】

漢字は教育漢字の４年生配当以上を重点的に勉強するとよいでしょう。受験生本人は「正しく書いているつもり」でも減点対象となることがあるので、一通り書いて確認してもらいましょう。

読解のトレーニングは説明的文章を題材に、論の展開をまとめてみたり要約をしてみたりするとよいでしょう。

算数

【出題の基本方針】

算数は筋道を立て、根気強く問題を解いていく教科です。本校では、基本的な計算力があり、課題にしっかり取り組み、最後まで粘り強く問題を解く姿勢をもった生徒に入学して欲しいと考えていますので、そのような力を測る問題作りに努めています。

【出題の内容と学習のポイント】

本校の入試問題は、基本～標準レベルの問題で構成されています。「数と計算」「量と測定」「数量関係」「図形」の各領域より万遍なく出題され、問題数は小問で20題程度です。また、解答形式はすべてが「答え」のみを書く形式となっており、途中過程を問うことはありません。A・B・Cの全日程で、1は計算問題、2はそれぞれが独立した小問集合、3以降は思考力を問う問題です。1、2は基本事項を問う問題ですので全問正解できる力をつけておきましょう。3以降は、問題の内容を正しく理解し、筋道を立てて解答を導き出す力を必要とします。大問の（1）は確実に解き、そのうえで（2）以降の問題も1問でも多く正解できる力をつけましょう。解法を暗記するのではなく、何故そうなるのかを常に明確にし、しっかり時間をかけて考えることを習慣づけてください。

【今年度の入試を振り返って】

＜大問・分野別正答率＞

日　程	A日程						B日程					
大　問	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
合格者	95.6%	89.5%	84.4%	61.4%	71.9%	59.0%	96.8%	92.0%	95.6%	63.9%	60.2%	62.2%
全　体	91.0%	79.8%	73.4%	51.5%	56.5%	44.3%	93.4%	82.7%	78.0%	34.3%	40.4%	37.5%

1はすべての受験生が概ね高得点をあげており、2も合格者の得点は高いものでした。A、B日程共に2以降、正答率に差が見られました。特にA日程では5、6、B日程では4、5、6の差が大きかったです。本校の過去の出題傾向をよくつかんで学習を積んでいくとよいでしょう。

【受験生へのメッセージ】

算数では確かな計算力をつけるのはもちろんですが、文章題を考えるときにいくつかの考え方ができることが大切です。日頃より「思考力」に磨きをかけて入試に臨んでください。

合格するための「しっかり」5か条　～算数入試対策～

1. 基本的な計算力をしっかり身につける。（毎日、計算練習をする。）
2. 平易～標準的な文章問題を繰り返し解いてしっかり自分のものにする。
3. 基本的な図形の性質をしっかりおさえ、図形の問題に慣れておく。
4. 1～3に取り組むためのノート作りをしっかりする。
5. 頭と手をしっかり使う。（式、図、グラフを正しくかく。）

理科

【出題の基本方針】

A・B日程に関して、理科の問題の全体的な傾向は例年と変わらない予定です。どの問題も実験や観察をもとにした問題になります。

【出題内容と学習のポイント】

① 大問は4問の予定です。
大問ごとに物理、化学、生物、地学の4分野からそれぞれ出題します。
大問ごとの配点はおよそ25点ずつで、10〜15問程度の小問を出題します。その中に、他分野の内容が混ざることもあります。

② 学習のポイントは、教科書を隅々までよく読み、理解しておくことです。
教科書の実験や観察はもちろんのこと、「資料」「発展」などもよく読み、理解しておきましょう。また、学習した内容が身近な現象とどのように関係しているのかなど、気がついたことなどをノートに書いておくことも大切です。

【今年度の入試を振り返って】

＜大問・分野別正答率＞

日　程		A日程				B日程			
大　問		1	2	3	4	1	2	3	4
分　野		生物	地学	物理	化学	物理	生物	化学	地学
正答率	合格者	82.0%	65.8%	67.5%	85.1%	57.5%	74.1%	70.1%	38.6%
	全　体	75.6%	60.2%	62.7%	73.2%	49.0%	63.8%	61.7%	30.3%

A日程…問題ごとの正答率に少しひらきがありました。
生物：思考力を問う問題が多かったのですが、全体的によくできていました。
地学：全体的にあまりよくできていませんでした。
物理：全体的にあまりよくできていませんでした。
化学：合格者はとてもよくできていました。思考力を問う問題が多く、合格者と受験者全体との間で、一番差がついた問題でした。

B日程…昨年に比べ、分野毎により正答率にばらつきがありました。
生物：教科書に出てくる用語はきちんと理解ができていました。その一方で動物や植物の例など、大小関係も含め、きちんと把握していないようでした。
化学：全体的にあまりよくできていませんでした。食塩水の問題に関する解答ミスが目立ちました。
地学：台風に関する知識、月の動きについての知識は、全体的によく身についていました。
物理：合格者と受験者全体で、一番差があった分野が物理です。基本的な知識の定着の差が分かれ目となったようです。

A・B日程ともに、基本的な知識を問う問題であっても複数解答を求める問題の正答率は低い傾向が見られました。また、教科書に太字で書かれている語句を正確に選べていない解答や、問題文をしっかり読まずに答えている解答もありました。
難しい問題ができるようになることも大切ですが、基本的な問題を正確に答えられることがさらに大事です。教科書の内容を徹底的に理解することが重要です。

【受験生へのメッセージ】

勉強に取り組む際、基礎・基本を大切にしましょう。また、自然現象を知識として覚えるのではなく、なぜその現象が起こるのか、どのようにしてその現象が起こるのかを考えながら勉強できる人たちがたくさん入学してくれることを楽しみにしています。

社会

【出題の基本方針】

（1）重要な用語や出来事など、基礎的知識がしっかりと定着しているかを問う。
（2）社会的事象の内容や背景が理解できているかを問う。
（3）図や統計などの資料の読み取りを通じて、社会的事象に対する認識力を問う。

【出題内容と学習のポイント】

2019年度入試も昨年同様、地理的分野（40%）、歴史的分野（40%）、公民的分野（20%）という構成になります。なお、地理的分野・歴史的分野では、公民的分野を含めた問題も一部出題します。漢字指定の設問もあるので、重要な用語や人物名は漢字で書けるようにしましょう。また、各分野において、用語等の意味や背景等について説明する問題が出題されることもあります。

（1）地理的分野

産業・人口・自然環境・貿易などから日本の特徴や、日本の各地域の特徴について出題します。地図や統計資料を読み取る設問もあるので、その統計から何が分かるのかを考える学習をしましょう。また、日本と関係の深い国や、特徴的な国についても把握しておきましょう。

（2）歴史的分野

特定の時代に偏ることなく、古代から現代までの重要な出来事、用語、人物、しくみについて出題します。歴史的出来事の内容やその背景についての正誤問題、また、歴史事象に関して並び替えの問題も出題されるので、歴史用語をただ覚えるだけでなく、それらを歴史の流れの中で正確に理解できるようにしましょう。

（3）公民的分野

日本の政治や社会の仕組みを中心に出題します。時事問題を題材に出題することもあるので、日頃から新聞などで社会のあり方や動向に注意を払い、関心を持つようにしましょう。

【今年度の入試を振り返って】

＜大問・分野別正答率＞

日　程		A日程			B日程		
分　野		地理	歴史	公民	地理	歴史	公民
正答率	合格者	61.8%	82.3%	82.6%	62.6%	77.7%	69.0%
	全　体	54.2%	75.2%	73.1%	57.7%	67.3%	58.1%

図や統計を読み取る設問、用語・出来事の内容や背景の正誤を問う設問、年代の順番を問う設問、記述形式の設問で差がつきました。用語を覚えるだけでなく、その内容や背景についても理解することが重要です。それらの理解が深まれば、正誤問題では正しく判断できます。今年度は特に「まちがっているもの」を選ぶ正誤問題で正答率に差が見られました。また、統計資料の読み取りや記述形式の設問でも「何が問われているのか」が把握でき、正解を導くことができるでしょう。

【受験生へのメッセージ】

社会科の学習は単なる用語の暗記だけではなく、「なぜ」「どうして」と考えたり、持っている知識を関連づけて考えることが大切です。受験生のみなさんには、受験勉強を通じて、わたしたちが生きている社会に対する「見方」「考え方」を深めていただきたいと思います。また、常に新聞やニュースなどで様々な社会事象に関心を持つようにしてください。

なんでもQ&A

A: 入試について

Q 昨年度の合格者数とその男女比を教えてください。

A：

	A日程	B日程	C日程	合計
男子（53.4%）	186名	29名	10名	225名
女子（46.6%）	140名	50名	6名	196名
合計（100%）	326名	79名	16名	421名

Q 補欠・繰り上げ合格はありますか？

A：追加合格を出すことがあります。その場合の合格者はA日程・B日程・C日程全3回の合計得点（1,100点満点）の高い順に、C日程合格発表後、2月11日までに電話でご連絡します。

Q A日程・B日程・C日程の複数回受験への優遇措置はありますか？

A：A日程のみ・B日程のみ・C日程のみを出願する際の検定料は各日程25,000円ですが、3日程を同時に出願する場合の検定料は50,000円です。

Q ４教科入試ですか？

A：A日程とB日程は、国語・算数・理科・社会の４教科、国語と算数は各５０分、理科と社会は各４０分、各教科１００点満点、合計４００点満点で実施します。C日程は、国語・算数・理科・社会の４教科、国語と算数は各５０分、理科・社会合わせて５０分、国語と算数は各１００点満点、理科と社会は各５０点満点、合計３００点満点で実施します。なお、全日程の算数にボーダー（４０点以上）を設けています。

Q 算数の式や計算は採点されますか？ また理科の用語や社会の地名・人名は、漢字指定ですか？

A：
＊算数は、計算結果のみの解答です。ただし、作図解答を求められる場合もあります。
＊漢字指定もあります。人名は苗字と名前を正しく書けるようにしてください。
＊なお、社会は時事問題、理科では実験・観察学習を重視した問題を出題します。実験の手順などを教科書でよく復習しておいてください。

Q 問題の難易度と、A日程・B日程・C日程間での難易度に差はありますか？

A：難問・奇問は無く、全問とも標準的な問題です。小学校で学習すべき内容を中心に問題を作成しています。A日程・B日程・C日程間での問題の難易度に差はありません。記述式解答を求める問題は、なぐり書きではなく、ハネや止メなどが良く分かるように、十分な筆圧で丁寧に解答してください。

Q 特待生制度とは何ですか？

A：成績優秀であり、他の生徒の模範となる者（各学年５名以内）を特待生として、１年間の授業料に相当する奨学金（米田吉盛教育基金奨学金）を給付する制度です。新入生については、入学試験により高得点順に、A日程で３名、B日程で２名の合格者を特待生とします。

Q 小学校に発行を依頼する書類はありますか？

A：出願に際して小学校に依頼する書類はありません。また、通知票のコピー等も必要ありません。

Q 帰国生入試について教えてください。

A：A日程で１０名募集します。出願資格は、①「日本国において小学校の就学年齢と定められた期間中の海外在留が通算で3年以上の児童」または、②「日本国において小学校の就学年齢と定められた期間中の海外在留が通算2年以上３年未満で、小学５年生以降に帰国した児童」が該当します。出願書類は、入学願書のほか帰国生徒報告書（本校所定用紙）と海外在留証明書（保護者勤務先作成、書式自由）が必要になります。検査科目は国語と算数の２科目です。その後面接のための資料を作成してもらい保護者同伴の面接を行います。国語と算数の問題は一般入試と同じです。

Q 学費の分納はできますか？

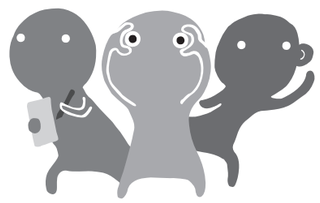
A：本校には、月分納、二期分納、一括納入という３つの支払い方法があります。すべて「ゆうちょ銀行」での自動支払いになります。詳細は合格手続の時に配付される「入学手続要項」に示しています。

Q 学債や寄付金の依頼はありますか？

A：全くありません。また、中高６年一貫校ですので高校進学時の入学金も不要です。

Q 入試のことでわからないことは、どこへたずねたらよいですか？

A：入試「なんでも相談」コーナーを設けて、Eメールでご相談、ご質問をお受けしています。



なんでもQ&A

B:学校生活について

Q 中学生の在籍数と男女比を教えてください。

A:

在籍665名 クラス数 18	1年 220名 6クラス	2年 217名 6クラス	3年 228名 6クラス
男子 355名 (53.4%)	120 名 (54.5%)	119名 (54.8%)	116名 (50.9%)
女子 310名 (46.6%)	100名 (45.5%)	98名 (45.2%)	112名 (49.1%)

(4月1日現在)

なお、中学・高校の在籍者総数は1,303名(男子707名(54.3%)・女子596名(45.7%)です。

Q 毎年クラス替えを行っていますか?

A: はい。高3になるときには、選択科目によって、高2のときとクラス編成が大きく変化しないこともあります。

Q 中学生の1日の日課(時程)はどうなっていますか?

A: 1日の標準日課は下記の通りです。

SHR	8:20〜 8:30	授業準備	13:00〜13:10
1限	8:30〜 9:20	5限	13:10〜14:00
2限	9:30〜10:20	6限	14:10〜15:00
3限	10:30〜11:20	SHR	15:00〜15:10
4限	11:30〜12:20	＊清掃・生徒会委員会・部活動等	
昼休み	12:20〜13:00	17:30 完全下校	

Q 補習・講習はありますか?

A: 中1・2を対象に毎週金曜日の1限にWET(Weekend Tests)を実施しています。これは英語と数学について、その週に学んだ基礎的内容が理解できているかどうかを確認する目的で実施しています。テストはその日のうちに採点され、その結果が不十分であると判断された場合、土曜日の午後に指名による「勉強会」(補習)を行います。中学の段階で「遅れ」を出さず、基礎・基本をしっかり身につけることを最大の目的としています。また、中3〜高3で意欲のある生徒には、授業レベルを超えた内容の講習を、放課後(7限)や始業前(0限)に実施しています。長期休業期間の補習・講習は午前中に実施するため、午前中の部活動を停止して学校全体で勉強に集中できるようにしています。

Q 校則は厳しいですか?

A: 厳しい校則はありません。制服以外の靴・カバン・コート類は自由です。しかし何でも自由というわけではなく、建学の精神に沿うように、飾り気がなく、清潔で端正な服装をすることが生徒には求められます。したがって生活上で問題が見られた場合には、生徒の自覚が促されるように教師が適切な指導を行います。必要があれば、家庭と連絡を取り合って改善に努めます。
本校の生徒は常識的なルールを守り、自律心を持って学校生活を送っています。

Q 携帯電話は持ち込めますか?

A: 持ち込みは許可していますが、あくまでも非常時の通信手段と考えていますので、校内では電源を切るよう指導しています。

Q 活躍している部活動はありますか?

A: サッカー部、なぎなた部、水泳競技部(水球)、音楽部(オーケストラ)、演劇部などが、好成績を残しています。また、希望者がチームをつくり、テーマを設定し、Web作品を制作する全国中学高校Webコンテストに参加し、優秀な成績を収めています。
本校は部活動を勝利至上主義というより、生涯スポーツや生涯続ける趣味・特技をつくる場と考えています。中学生の活動は週5日を限度とし、定期考査1週間前には活動を休止します。

Q 給食はありますか?

A: ありません。多くの生徒が自宅からお弁当を持って来ています。食堂を利用する生徒もいます。食堂は座席が330席あり、400円くらいで食事ができます。パスモ、スイカのICカードが使えます。

Q 保護者の転勤等による転出後の転入学はできますか?

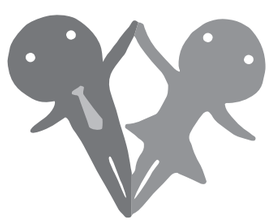
A: 本校に在籍していた生徒には優遇措置があります。原則として中3の終了時までであれば転入学できます。

Q 校舎・設備について教えてください。 <学校案内参照>

A: 校舎は耐震構造になっており、全教室とも冷暖房完備、窓ガラスには飛散防止フィルムが貼ってあります。生徒一人当たり44坪にも及ぶ17.4万m^2の敷地内に、1号館(普通教室)、2号館(体育館)、3号館(特別教室)、4号館(講義棟)、野球場、陸上グラウンド(400mトラック)、サッカー・ラグビー場(人工芝)、50mプール、テニスコート(4面)などがあります。プール以外の屋外施設には夜間照明があります。

Q 万一の災害時の対応はどのようになっていますか? ▶ P. 6

A: 災害時、生徒が3日間生活できるだけの物資(防寒シート、飲料水、非常食、医薬品)を特設倉庫に備蓄しています。また、50mプールの水を飲料水に変える浄水装置も備えています。中1では防災教室を実施し、災害時の生活を体験します。



なんでもQ&A

C:授業・カリキュラムについて

Q 授業・カリキュラムの特徴を教えてください。

A: 中学校では偏りのない「バランスの良い科目配分」、高校では進路を見据えた「多様な選択」が特徴です。大学受験教科以外の教科を切り捨てることのないようにバランスのとれた教科配分になっています。
インターネットを利用した情報教育（パソコン100台設置、生徒全員にアドレス配付）、学年枠を超えた講習などがあります。

Q 文理分けは、何年生からですか？また、文系と理系はどちらが多いですか？

A: 高2からです。高1の後期に翌年度の選択科目を決定します。例年、文系も理系も3クラスずつですが、理系クラスのほうが1クラス当たりの人数が多くなります。国公立大学志望と私立大学志望によるクラス分けはしていません。

Q 分割授業やコース制はありますか？ ▶ P. 7

A: 中1～高1のネイティブの先生による英会話の授業では、1クラスを2分割して生徒による英語の発話の機会を多くしています。また、生徒に対する学力保証を目的として、中3の英語は2クラスを3分割、高1の英語は1クラスを2分割して、少人数による授業を実施し基礎学力の定着をはかっています。高2・高3では選択科目を幅広く履修することによって各自の進路に合った受験体制が整えられます。

Q 英語の授業について教えてください。

A: 中学では、「NEW TREASURE」（Z会出版）のテキストを中心に授業を進めています。検定済教科書とは違い、学習内容が削減されていないので、十分な学力をつけることができます。また、中1～高1では、総合的な学習の時間を使って英会話の授業を行っています。1クラスを2分割し、ネイティブの先生によって実施されています。また、中1からコンピュータを使った学習もできます。

D:グローバル教育について

Q 海外研修は、どのようなプログラムですか？

A: 教科エクステンションとして、本校教員が企画したプログラムです。3コースが用意され、高1の3月～高2の4月にかけて実施しています。それぞれの研修内容について、関心が高く、理解を深めたい生徒を公募し、募集人数を超えた場合には選抜されます。参加予定者は、事前学習を経て、現地での活動を行い、各自で設定したテーマについてレポートを提出します。その学習成果を学校設定科目「国際理解」1単位として認めています。

2018年度実施計画

芸術科・英語科 ◆ 英国・イタリア海外研修 11泊13日（機内2泊）	
研修先	イギリス・・・ロンドン・オックスフォード イタリア・・・シエナ・フィレンツェ・ローマ
ねらい	1. オックスフォードのカレッジでの英語体験と美術学習を基本に、英語体験の中から文化を考える力をつけ、ホームステイを通してイギリス人の生活を体験する。 2. ルネサンス思想の理解を背景に中世から現代の建築・美術・音楽などの作品を学問的な見地から鑑賞し、テーマ学習を深め、論文形式のレポートを作成し、発表する。

理科 ◆ ハワイ島海外研修 6泊8日（機内1泊）	
研修先	アメリカ合衆国ハワイ島
ねらい	1. 地質学：活動中の火山の観察を通して、地球内部の活動を支える力を実感し、地球に対する畏敬の念を養う。 2. 天文学：日本が世界に誇る天体観測の場において、最先端の天体情報に触れるとともに、学術発展における国際交流の必要性について実感する。 3. 生物学：①植物観察を通して、ハワイ島の外来植物と固有植物を理解し、その比較から見えてくる、自然と人との関わり方を考える。 ②海洋生物の観察を通して、生物の多様性とそれを支える環境との関係を理解する。

地理歴史科・公民科 ◆ ベトナム・カンボジア海外研修 6泊8日（機内1泊）	
研修先	ベトナム社会主義共和国・・・ホーチミン・ハノイ カンボジア王国・・・シェムリアップ（アンコールワット・アンコールトム遺跡）
ねらい	1. いずれの訪問地でも、社会・文化・人々の生活・都市の「熱気」を体感し、異文化理解と地域理解を図る。また、グローバル・ローカル双方の視点や、社会的事業の観点から、当該地域の諸問題を考察する。 2. カンボジアでは、世界遺産のアンコール遺跡群の見学を通じて当該地域の歴史・文化に触れるとともに、観光開発と地域の変容について考える。 3. ベトナムでは、国際協力・企業進出の現場の実見や、現地高校生との交流を通じて、日本と東南アジアとの関係について現状と課題を考える。また、近現代史の観点からベトナムの社会・文化についての理解を深める。

Q 海外交流ではどのような交流をしていますか？

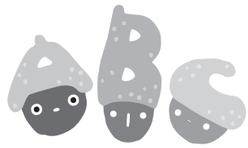
A: 現在交流校として、韓国のトクソ高校とオーストラリアのカランドラ・シティ・プライベート・スクールの2校があります。トクソ高校は5月に生徒たちが来校し、授業の参加や交流会を行います。8月には本校から2泊3日で訪韓し、学校を訪ね交流を図ります。カランドラ・シティ・プライベート・スクールは、12月に生徒たちが来校し、3月に本校の生徒たちが訪問します。

Q 語学研修は、海外研修とどのように異なりますか？

A: 語学研修は、実践的な英語運用能力の向上を目指す本校生徒のために、旅行会社がデザインしたプログラムです。中3と高1を対象とし、7～8月にかけて15日間、イギリスのヨーク及びエディンバラで実施されます。ともに、語学学校でのホームステイプログラムを通して、多国籍の同年代の方との英語レッスンに参加し、コミュニケーションの手段としての英語を学びます。成績による選抜はありません。

Q 海外に留学することはできますか？

A: 高1～2で海外に留学する生徒がいます。本校の留学規定に基づき留学が認められた生徒は、海外での授業のうち、成績によって最大30単位まで本校の卒業単位として認められますので、留年することなく本校を卒業することができます。



E:ICT教育の取り組みについて

Q なぜ、ICT教育を積極的に取り入れるのですか?

A: 授業や学習活動にタブレットやPCなどのICTを導入することによって、学力の向上が期待されます。知識・技能だけでなく、学ぶ力・人間力、そして思考力・判断力・表現力といった能力を育むために、ICTを活用しながら探求学習やプレゼンテーションを繰り返し実施していきます。

Q タブレットPCを購入する時期と価格を教えてください。

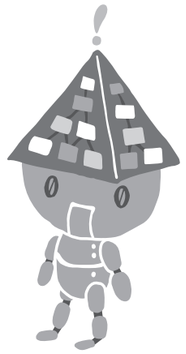
A: 中学2年生の4月から使用するので、中学1年生の3月(2019年3月)に購入していただきます。
価格は15万円程度です。

Q タブレットPCとはどんなものですか?

A: スマホのように画面をタッチして操作できるパソコンの事です。キーボードが着脱式で、タブレットとしても利用でき、持ち運びがしやすくいろんな場所で使えるのが特徴です。タブレットではiPadが有名ですが、パソコンではないので、ノートやレポート作成、プログラミングには向いていません。世界的にも教育現場では、Windows10のタブレットPCかGoogleのChromeBookが人気となっています。
本校では導入にあたって検討を重ねてきましたが、卒業後も鑑み、大学や企業で大幅のシェアを持つ、Windows10を導入することとしました。

Q タブレットPC導入の目的を教えてください。

A: 生徒1人1台のタブレットPCを持つことにより、授業や家庭学習の形を変え、知識を身につけるだけでなく、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力、プログラミング能力を高め、自ら学ぶ意欲や姿勢を身につけることができます。大学入試改革への対応やキャリア形成が導入の目的です。
<大学入試改革とICT>
　これまでのセンター試験が廃止され、2020年度(2021年1月)から「大学入学共通テスト」に移行します。新テストでは、学力の3要素(知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)を評価します。
　試験の詳細については現在検討中ですが、国語や数学ではマークシート式(選択式)に加え、記述式問題が出題されます。英語では英検やGTECなどの資格・検定試験が利用できます。そして、コンピュータやタブレットを利用して実施するCBT方式(Computer Based Testing)が検討されています。
<参考>文部科学省 大学入学者選抜改革について
http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/koudai/detail/1397731.htm



Q タブレットPCをどのように使うのですか?

A: 授業や家庭学習でデジタル学習用個人カルテを使って、学習内容の整理や、課題提出を行います。一例として、英語では授業や家庭学習でeラーニング教材College Pathwayやデジタル教科書StudyLinkZを使い効果的な学習を展開します。各教科では、ロイロノートやOffice365などのソフトを使って教材の配布や授業を展開し、協働学習やプレゼンテーションを行います。技術や情報の授業では、タイピングからプログラミングでロボット制御、映像編集、Web制作まで行います。また、校外学習などの学校行事や家庭学習課題でも利用します。

Q サポート体制及びセキュリティについて

A: 校内のICTサポートセンターで、機器の不具合や操作方法等の質問について対応します。ICTサポートセンターでは予備機を備え、生徒の機器に不具合があった場合、貸し出しを行い、授業に支障がないようにいたします。また全生徒同機種のタブレットPCにすることにより、システムの一括管理を行いセキュリティの確保を行います。

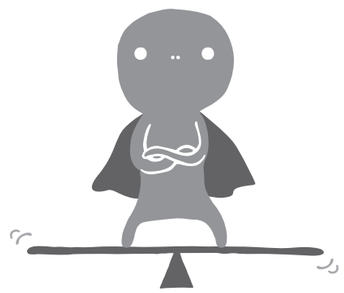
F:進路について

Q 進路指導の特徴を教えてください。

A: 生徒の興味・関心・能力を最大限に引き出し、「生き方探し」のサポートをしています。リゾースティーチャー(保護者・卒業生の特別講師)によるレクチャー、中3「神奈川大学見学会」や、高1「学部学科説明会」、高1・2「OB・OG懇談会」、高2「一日神奈川大学生」を実施しています。職業観を育む指導から大学卒業後の就職までを見据えた、適切な指導が行われています。

Q 卒業後の進路は神奈川大学への進学が中心となりますか?

A: いいえ、卒業生の9割以上の生徒が他の大学等への進路をとっています。神奈川大学へは、一般入試で合格して進学するほか、推薦入試を受験することによって進学することもできます。推薦には、Ⅰ期推薦とⅡ期推薦があり、Ⅰ期推薦では、神奈川大学への進学を確保したうえで他の大学を受験することもできます。昨年度は80名の推薦枠があり、Ⅰ期推薦で3名、Ⅱ期推薦で4名の、合計7名が神奈川大学へ進学しました。



Q 現役進学率は高いのですか？

A： 2018年度大学入試では、下の表の通り86%の生徒が現役で進学しました。

卒業者数	4年制大学	短期大学	大学校・専門学校	海外の大学	その他
200名	168名	0名	3名	1名	28名*

＊ 合格したが進学先未決定の者を含んでいます。

上位大学への進学者は下表の通りで、卒業生の59.5%が国公立や早慶上理、GMARCH（学習院・明治・青学・立教・中央・法政）および同レベルの大学に進学しています。

国公立	早慶上理	GMARCHレベル*
42名	27名	50名

＊ ICU、関西、関西学院、同志社、立命館

Q なぜ国公立大学の合格者の割合が増えたのですか？

A： 本校では生徒の希望に合わせた進路指導を行っています。生徒や保護者の方からの国公立進学を希望する声に応え、多様な進路に対応できるようなカリキュラム編成を行ってきたことが功を奏していると考えられます。取り組みの一例として、

①文系国公立・難関私立大学に対応できるよう、数学Ⅱ・Bを必修化
②理系センター対策として、文系科目を必ず履修できるようカリキュラムを編成

といったことが挙げられます。加えて、中1から段階的な進路指導を行うことで、自分の進路を見定め、早くから国公立を目指し準備することができる生徒が増えたこと、また、「受験」にとらわれず、全ての教科をバランス良く、興味を持って学ぶ生徒が多く、その結果、国数英だけでなく、社会や理科といった国公立受験に必要な科目の基礎が定着していることも一因です。更に、ここ数年の国公立大学に進学した先輩たちの姿が、自らも国公立大学を目指せるという可能性や希望を在校生に与え、早くから意欲的に学習に取り組む生徒が増えて、実績に繋がっているとも考えられます。

Q 神奈川大学以外にも指定校推薦はありますか？

A： はい、毎年各大学から指定校推薦の依頼が来ています。2018年度入試では下記の大学から指定校推薦枠をいただきました。

慶應義塾大学（理工）、早稲田大学（商・文化構想・創造理工・基幹理工・先進理工）、東京理科大学（経営・基礎工・理）、明治大学（政治経済）、青山学院大学（理工）、中央大学（法・経済・総合政策・商・理工）、立教大学（現代心理・文）、法政大学（社会）、学習院大学（経済・文・理）、成城大学（文芸）、明治学院大学（文・経済・社会・法・国際・心理）、日本大学（文理・理工）、東邦大学（理）、東京農業大学（生物科・生物産業）、聖心女子大学、東京歯科大学（歯）、昭和薬科大学（薬）、東京薬科大学（薬・生命科）、明治薬科大学（薬）、武蔵野大学（薬）等で、80名以上の推薦枠を確保しています。

資料編　中学校・高等学校カリキュラム

●中学校

	1年	2年	3年
1	国語	国語	国語
2			
3			
4			
5	数学	数学	数学
6			
7			
8			
9			
10	英語	英語	英語
11			
12			
13			
14			
15	社会	社会	社会
16			
17			
18			
19	理科	理科	理科
20			
21			
22			
23	音楽	音楽	音楽
24	美術	美術	美術
25			
26	保健体育	保健体育	保健体育
27			
28			
29	技術・家庭	技術・家庭	技術・家庭
30			
31	WET	WET	技術・家庭
32	道徳	道徳	道徳
33	学級活動	学級活動	学級活動
34	総合学習（英会話を含む）	総合学習（英会話を含む）	総合学習（英会話を含む）
35			

※総合学習の一部は、期間を定めて集中的に実施しています。
※WET：週末確認テスト Weekend Tests

●高等学校

	1年	2年 文系	2年 理系	3年 文系	3年 理系
1	国語総合	古典A		現代文B	数学Ⅲ
2					
3		**古典研究Ⅰ**	数学B		
4					
5		数学Ⅱ		古典B	**数学Ⅲ研究** **数学総合**
6	数学Ⅰ				
7					
8					
9		コミュニケーション英語Ⅱ		コミュニケーション英語Ⅲ	
10	数学A				
11					
12	コミュニケーション英語Ⅰ			英語表現Ⅱ	
13					
14		英語表現Ⅱ			
15					
16	英語表現Ⅰ	〈1科目選択〉 世界史B 日本史B	化学	<1科目選択> **世界史特講** **日本史特講**	<1科目選択> 物理 生物
17					
18	世界史A				
19				<4科目選択> **数学総合** **地理特講** **政治・経済特講** **生物科学研究** 倫理 現代文研究 古典研究Ⅱ	化学
20	現代社会	〈1科目選択〉 地理A 政治・経済	地理A		
21					<3科目選択> **現代文研究** **古典研究Ⅱ** **地理特講** 倫理 政治・経済
22	物理基礎	現代文A	現代文A		
23					
24	化学基礎		物理 生物		
25		〈1科目選択〉 **数学特講Ⅰ** **英語特講Ⅰ** **化学特講Ⅰ** 芸術Ⅱ			
26	生物基礎			＜2科目選択＞ **国語特講Ⅱ** **数学特講Ⅱ** **英語特講Ⅱ** **英作文** **化学特講Ⅱ** **体育特講** 芸術Ⅱ	
27		家庭基礎			
28	芸術				
29		情報の科学			
30	体育				
31		体育		体育	
32	保健				
33	LHR	保健			
34	総合学習（英会話を含む）	LHR		LHR	
35		総合学習			
36		**国際理解**			

※総合学習の一部および国際理解は、期間を定めて集中的に実施しています。
※太文字は、学校設定科目を表しています。

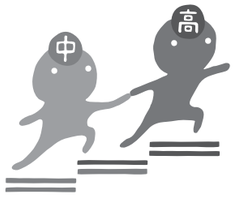
資料編　各教科6年間の歩み

	成長期 基礎力の完成		発展期 応用力の育成		飛躍期 進路に応じた実践力の育成	
	中1	中2	中3	高1	高2	高3
国語	●現代文：小説・評論・詩歌で読解力を培い、報告や意見・感想の文章化で表現力を養う ●古文：有名古典冒頭の暗誦、説話などの読解を通して古文に慣れ親しむ ●漢文：漢文訓読の基礎を学び、故事成語を読んで漢文に親しむ ●漢字検定3級の取得をめざす		●現代文：小説・評論・詩歌で読解力を高め、調査報告を通して言語表現の充実を図る ●古文：徒然草・今昔物語集・奥の細道・和歌などを読解し、文語文法を理解する ●漢文：様々な作品の読解を通して、漢文の構造・句法を理解する ●漢字検定2級の取得をめざす		●現代文：小説・評論・詩歌などで読解力の充実を図る ●古典：様々な作品（古文：枕草子・源氏物語・大鏡、日記・評論など／漢文：史記など）の読解を通して実力を養い、文法・単語・文学史・句法についての総まとめを行う ●大学入試に向けた問題演習を通して総合的な実力を養う	
数学	●数学の学習に必要な基礎学力の定着を図る ●中学3年間の学習内容を終える		●高校数学の基礎の定着と応用力の育成を図る ●中学3年から高校の内容（数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B）を学習する		●文・理に分かれて全員が数学を学習する ●進路に応じて必要な科目を選択履修する **文系**：数学Ⅱ・数学Bを終了後、センター試験対応の演習を行う **理系**：数学Ⅱ・数学Bを終了後、数学Ⅲを学習する	●進路に応じて必要な科目を選択履修する 数学的思考力や表現力を高め、大学入試に適応できる力を身につける
英語	●音読を中心に英語特有の文の構成に慣れ、英文法の基礎力を養う ●英単語コンテストを通して、最終的に高校入試レベルの語い数まで増やす ●e-learningでは自ら定めた目標に対し、学習計画を立案し、オンラインプログラムを活用しながら自己の英語運用能力の伸長を図る		●複雑な構文の文章に慣れるとともに、パラグラフの展開を意識した読解力をつける ●高校英文法の基礎力を完成し、平易な大学入試問題に慣れる ●e-learningでは自ら定めた目標に対し、学習計画を立案し、オンラインプログラムを活用しながら自己の英語運用能力の伸長を図る		●精読を通して文構造を理解し、速読を通して全体の流れを追う力を養う ●外国人講師とのペアティーチングによる英作文の授業の中で自己表現力を身につける ●英語特講では長文読解の問題演習を行い、スピーディに読み問題を解く力を伸ばす	
社会	●高校の学習内容を一部取り入れながら、地理的分野と歴史的分野を並行して学習する ●社会的事象に対する「見方・考え方」を学び、特に日本と世界のつながりについて理解を深める		●公民的分野（日本の政治・経済のしくみ、国際社会における日本）について学習する	●世界史Aと現代社会を学習し、地理歴史科・公民科の基礎を形成する	●進路に応じて、文系は地歴・公民科の科目（日本史、世界史、地理、政治・経済）から2科目を履修し、理系は地理を履修する	●進路に応じて、日本史、世界史、地理、政治・経済、倫理の中から選択履修する ●大学入試に対応できる力を養成する
理科	●1分野（物理・化学）と2分野（生物・地学）を並行して学び、中学3年間の学習内容を終える ●実験や観察を通して、理科の基本的な「学び方」を体験的に身につける		●中3から高校の内容（化学・生物）を学習する ●実験や観察により科学的思考力を高め、大学受験に対する基礎を固める		●進路の希望に応じて、物理・化学・生物・地学の中から選択履修する ●大学入試に対応できる力を養成する	
芸術 音楽	●リコーダー演奏、発声法、楽典など基礎的な音楽知識の習得を図る	●楽器やボディーパーカッション、混声三部合唱などを通して演奏技術の確立をめざす	●アカペラ合唱や混声四部合唱を通して、音楽的表現力の向上を図る ●日本音楽への理解を深める	●美術・工芸・音楽・書道の4つの領域に分かれて履修し、それぞれの専門分野に対して理解の深化を図る	●生涯学習という観点から授業展開を行い、同時に「将来の実現」という観点からも、より高度で専門的な授業展開を図る	●個別指導による授業展開を実施する
芸術 美術	●水彩画で平面構成、彫刻で立体構成といった基礎的技術の習得を図る	●寄木細工やスクラッチタイルや平面構成を通してデザイン分野の理解を深める。	●名画のコラージュ模写の制作を通して、色・形などに対する表現力を高める。			
保健体育	●基礎体力と表現能力を高めるために様々な身体活動を行う。水泳（クロール）・マット運動・ダンス・持久走・バスケットボールの実技と保健を学習する	●基礎体力と表現能力を高めるために様々な身体活動を行う。体作り運動・鉄棒・水泳（平泳ぎ）・バレーボール・持久走・フットサル・剣道の実技と保健を学習する。	●硬式テニス・水泳（背泳ぎ）・陸上（走跳投）・持久走・ソフトボール・剣道の実技と保健を学習する	●サッカー・水泳（バタフライ）・バスケットボール・持久走・マット運動の実技と保健を学習する	●バレーボール・水泳（個人メドレー）・硬式テニス・持久走・陸上（投てき種目）の実技と保健を学習する	●5年間の総復習を通して生涯スポーツについて考察する
技術家庭	●技術分野では製図法やラジオの製作、家庭分野では調理の基礎と被服の基礎を学習する	●技術分野では木材を使った本棚の製作、家庭分野では座布団の製作と調理実習を行う			●衣・食・住・消費生活に関する問題や保育を学ぶとともに、編み物実習、調理実習も行う	
情報	●情報モラルを身につけ、インターネットやSNSを正しく活用する能力を育む ●タッチタイピングの習得 ●iPadを使ったアクティブ・ラーニング	●1人1台タブレットを購入し、授業や宿題で活用する ●Office 365を中心にICTリテラシーの向上 ●プログラミング教育の実施 ●タッチタイピングの習得	●タブレットPCを使った学習を中心に行い、デジタルポートフォリオで学習履歴を作る ●センサーロボットを使ってプログラミング ●画像処理、音声編集、プレゼンテーションデータなどデジタルコンテンツの制作	●タブレットPCを使った学習を中心に行い、デジタルポートフォリオの蓄積	●インターネットのしくみやセキュリティーなど情報学の知識やスキルの習得 ●宇宙エレベーターをセンサーロボットで制作し、問題解決 ●ムービー編集やWebページなどデジタルコンテンツの制作 ●テーマ別グループ研究でWeb制作とプレゼンテーション	
総合的な学習	●地域調査 ●国際理解：英会話・Breakthrough English Camp	●地域調査 ●国際理解：英会話・Breakthrough English Camp	●奈良・京都校外学習 ●国際理解：英会話・Breakthrough English Camp	●沖縄校外学習 ●国際理解：英会話	●進路理解：大学学部学科説明会	

数学・英語の主な使用教材

数学	中1	四訂版　体系数学1　代数編	数研出版
		四訂版　体系数学1　幾何編	数研出版
		四訂版対応　体系問題集　数学1　代数編【発展】	数研出版
		四訂版対応　体系問題集　数学1　幾何編【発展】	数研出版
	中2	四訂版　体系数学2　代数編	数研出版
		四訂版　体系数学2　幾何編	数研出版
		四訂版対応　体系問題集　数学2　代数編【発展】	数研出版
		四訂版対応　体系問題集　数学2　幾何編【発展】	数研出版
	中3	数学Ⅰ	数研出版
		数学A	数研出版
		改訂版　教科書傍用　4STEP　数学Ⅰ+A	数研出版
	高1	数学Ⅱ	数研出版
		数学B	数研出版
		改訂版　教科書傍用　4STEP　数学Ⅱ+B	数研出版
	高2	数学Ⅲ	数研出版
		新課程　教科書傍用　4STEP　数学Ⅲ	数研出版
		大学入試数学問題集　オービタル数学ⅠAⅡB　新課程	旺文社
	高3	三訂版　オリジナル・スタンダード　数学演習Ⅲ　受験編	数研出版
		2018 大学入試センター対策 数学ⅠAⅡB上級演習PLAN120	数研出版

英語	中1	NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage1 Second Edition	Z会出版
		NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage1 文法問題集 Second Edition	Z会出版
		Hyper Listening introductory 3rd Edition	桐原書店
	中2	NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage2 Second Edition	Z会出版
		NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage2 文法問題集 Second Edition	Z会出版
		Listening Trial stage1	文英堂
	中3	NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage3 Second Edition	Z会出版
		Sirius 21 発展編 Vol.3	育伸社
		Listening Trial stage2	文英堂
	高1	NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage 4	Z会出版
		Vintage 英文法・語法	いいずな書店
		Listening Trial stage3	文英堂
		総合英語 Evergreen English Grammar 47 Lessons	いいずな書店
		総合英語 Evergreen English Grammar 47 Lessons Work Book	いいずな書店
	高2	Take Up English Reading	数研出版
		センターリスニング分野別10min.	エミル出版
		Critical Point 2	エミル出版
		大学入試完全攻略講座④英語長文問題演習【入門編】	桐原書店
		Take Pleasure in Your English Reading	数研書店
	高3	Three-Stage Training Climb-Up 3	山口書店
		SKYWARD COSMOS Course	桐原書店
		英文速読ドリル	Z会出版
		頻出英文法・語法問題1000［増補改訂版］	桐原書店
		大学入試完全攻略講座② 英語長文問題演習【完成編】	桐原書店
		Write it Right 英作文	数研出版



資料編　大学入試の合格状況

現役生	2017年度卒		2016年度卒		2015年度卒	
卒業者数	200		230		199	
	進学者数	合格者数	進学者数	合格者数	進学者数	合格者数
国公立大学	42	45	42	51	44	56
大学校	0	0	1	1	0	1
私立大学	126	441	138	543	123	586
海外の大学	1	4	0	0	0	1
専門学校	3	3	1	1	0	0
就職	0	0	1	1	0	0
浪人・その他	28		47		32	
合　計	200	493	230	597	199	644

国公立大学	2018年度入試		2017年度入試		2016年度入試	
	合格者数	現役生数	合格者数	現役生数	合格者数	現役生数
東京大学	2	2	1	1	1	1
京都大学	2	2	1	1	0	0
一橋大学	1	1	3	3	1	1
東京工業大学	3	2	3	3	4	3
北海道大学	2	1	12	9	3	3
東北大学	1	1	3	2	3	3
大阪大学	2	1	2	1	0	0
名古屋大学	0	0	2	2	1	1
九州大学	0	0	1	0	0	0
旭川医科大学	1	0	0	0	0	0
弘前大学	1	0	0	0	0	0
秋田大学	1	1	0	0	0	0
岩手大学	0	0	0	0	1	1
茨城大学	0	0	1	1	0	0
筑波大学	0	0	2	1	1	1
群馬大学	1	1	0	0	0	0
埼玉大学	1	1	2	2	0	0
千葉大学	6	5	1	1	2	2
お茶の水女子大学	1	0	1	1	1	1
電気通信大学	2	1	1	1	3	2
東京海洋大学	2	2	0	0	1	0
東京外国語大学	3	3	1	1	1	0
東京学芸大学	0	0	2	2	3	3
東京芸術大学	1	1	0	0	0	0
東京農工大学	1	1	1	1	6	6
横浜国立大学	10	9	4	3	13	11
新潟大学	0	0	0	0	1	1
富山大学	0	0	1	0	1	0
金沢大学	0	0	0	0	1	0
信州大学	0	0	2	2	2	1
静岡大学	0	0	2	2	0	0
神戸大学	0	0	0	0	2	1
高知大学	0	0	2	1	1	0
大分大学	0	0	0	0	1	0
鹿児島大学	0	0	0	0	1	1
会津大学	1	0	0	0	0	0
横浜市立大学	3	3	4	3	9	8
首都大学東京	7	6	5	5	6	5
国際教養大学	0	0	0	0	1	0
都留文科大学	1	1	0	0	0	0
長野県看護大学	0	0	1	1	0	0
奈良県立医大学	1	0	0	0	0	0
高知工科大学	0	0	1	1	0	0
合 計	57	45	62	51	71	56

大学校	2018年度入試		2017年度入試		2016年度入試	
	合格者数	現役生数	合格者数	現役生数	合格者数	現役生数
防衛大学校	0	0	0	0	1	1
防衛医科大学校	0	0	1	1	0	0

海外の大学	2018年度入試		2017年度入試		2016年度入試	
	合格者数	現役生数	合格者数	現役生数	合格者数	現役生数
University of Kent (他)	4	4	0	0	1	1

専門学校	2018年度入試		2017年度入試		2016年度入試	
	合格者数	現役生数	合格者数	現役生数	合格者数	現役生数
	3	3	1	1	1	1

私立大学	2018年度入試		2017年度入試		2016年度入試	
	合格者数	現役生数	合格者数	現役生数	合格者数	現役生数
神奈川大学	37	36	30	29	38	37
	内推薦8名		内推薦6名		内推薦11名	
早稲田大学	42	38	58	51	59	45
慶應義塾大学	25	21	25	20	22	16
上智大学	6	6	13	13	27	21
東京理科大学	30	23	60	44	50	39
明治大学	76	60	96	83	99	90
青山学院大学	22	17	16	13	28	25
立教大学	33	26	27	24	30	20
中央大学	29	22	27	24	32	28
法政大学	38	31	31	26	38	35
学習院大学	11	7	6	6	8	7
国際基督教大学	1	1	1	1	1	0
関西大学	3	2	0	0	1	1
同志社大学	2	2	1	1	1	1
立命館大学	4	4	2	2	1	1
日本大学	29	25	31	30	25	24
東洋大学	14	11	7	7	4	4
駒澤大学	3	3	5	5	5	5
専修大学	14	10	3	3	5	4
麻布大学	1	1	3	2	10	7
関東学院大学	0	0	3	1	0	0
北里大学	9	6	11	10	8	6
工学院大学	2	2	3	3	1	0
國學院大學	1	1	3	3	7	7
芝浦工業大学	7	6	5	3	23	22
昭和大学	2	2	4	3	3	2
成蹊大学	6	3	4	3	4	4
成城大学	8	7	19	18	4	3
玉川大学	1	0	5	4	5	5
帝京大学	0	0	1	1	1	1
東海大学	2	2	9	8	3	2
東京工科大学	2	2	4	4	1	1
東京電機大学	1	1	1	0	3	2
東京都市大学	9	7	9	9	33	31
東京農業大学	21	15	11	11	26	26
東邦大学	0	0	4	2	2	1
武蔵野大学	2	2	3	3	2	2
明治学院大学	21	16	21	21	24	21
近畿大学	0	0	2	2	0	0
立命館アジア太平洋大学	0	0	1	1	2	2
関西学院大学	1	1	0	0	4	4
共立女子大学	0	0	2	2	0	0
聖心女子大学	3	2	1	1	0	0
津田塾大学	1	0	3	3	0	0
東京女子大学	4	3	3	3	1	1
東洋英和女学院大学	1	1	0	0	1	1
日本女子大学	1	1	10	10	5	5
フェリス女子大学	0	0	1	1	1	1
実践女子大学	1	1	1	1	0	0
鎌倉女子大学	1	1	1	1	0	0
日本獣医生命大学	1	1	0	0	0	0
埼玉医大学	1	0	0	0	0	0
自治医科大学	0	0	1	1	0	0
順天堂大学	0	0	2	2	0	0
聖マリアンナ医科大学	1	0	1	0	0	0
東京慈恵会医科大学	0	0	1	1	0	0
国際医療福祉大学	2	0	2	2	0	0
昭和薬科大学	1	1	0	0	3	3
東京薬科大学	0	0	0	0	4	4
星薬科大学	4	4	5	5	4	3
明治薬科大学	1	1	0	0	4	4
横浜薬科大学	1	0	0	0	2	2
多摩美術大学	1	0	1	1	5	1
武蔵野美術大学	2	0	0	0	3	0
その他の私立大学	8	6	17	15	11	9
合　計	550	441	617	543	684	586

資料編　現役生の進路状況

卒業者数	2017年度卒	2016年度卒	2015年度卒
	200	230	199
男子/女子	111/89	136/94	120/79

国公立大学	進学者数		
	2018年度入試	2017年度入試	2016年度入試
東京大学	2	1	1
京都大学	2	1	0
一橋大学	1	3	1
東京工業大学	2	1	3
北海道大学	1	9	3
東北大学	1	2	3
大阪大学	1	1	0
名古屋大学	0	2	1
秋田大学	1	0	0
岩手大学	0	0	1
筑波大学	0	1	1
群馬大学	1	0	0
埼玉大学	1	2	0
千葉大学	5	1	2
お茶の水女子大学	0	1	1
電気通信大学	1	1	1
東京海洋大学	2	0	0
東京外国語大学	3	1	0
東京学芸大学	0	2	3
東京藝術大学	1	0	0
東京農工大学	1	1	5
横浜国立大学	8	1	10
信州大学	0	2	1
静岡大学	0	2	0
神戸大学	0	0	1
鹿児島大学	0	0	1
横浜市立大学	2	2	4
首都大学東京	6	4	1
長野県看護大学	0	1	0
国内の国公立大学合計	42	42	44
進学率(%)	21.0	18.3	22.1

大学校	進学者数		
	2018年度入試	2017年度入試	2016年度入試
大学校合計	0	1	0

海外の大学	進学者数		
	2018年度入試	2017年度入試	2016年度入試
海外の大学合計	1	0	0

専門学校	進学者数		
	2018年度入試	2017年度入試	2016年度入試
専門学校合計	3	1	0

現役進学者数	2017年度卒	2016年度卒	2015年度卒
	172	182	167
現役進学率(%)	86.0	79.1	83.9

就職	2017年度卒	2016年度卒	2015年度卒
	0	1	0
既卒生比率(%)	0.0	0.4	0.0

現役進路先未決定者数	2017年度卒	2016年度卒	2015年度卒
	28	47	32
既卒生比率(%)	14.0	20.4	16.1

私立大学	進学者数		
	2018年度入試	2017年度入試	2016年度入試
神奈川大学	9	9	9
進学率(%)	4.5	3.9	4.5
早稲田大学	15	24	19
慶應義塾大学	9	11	6
上智大学	1	2	4
東京理科大学	2	10	7
小計	27	47	36
進学率(%)	13.5	20.4	18.1
明治大学	18	9	15
青山学院大学	5	4	9
立教大学	5	4	4
中央大学	9	9	1
法政大学	7	4	5
学習院大学	3	2	3
関西大学	1	0	0
同志社大学	1	1	1
立命館大学	1	0	0
小計	50	33	38
進学率(%)	25.0	14.3	19.1
日本大学	4	7	7
東洋大学	3	1	0
駒澤大学	0	1	0
専修大学	2	1	1
麻布大学	1	1	2
工学院大学	1	1	0
國學院大學	1	0	1
芝浦工業大学	3	0	1
成蹊大学	1	1	1
成城大学	3	6	0
玉川大学	0	0	1
東海大学	1	1	1
東京家政大学	0	1	0
東京工科大学	2	0	0
東京電機大学	0	0	1
東京都市大学	1	6	3
東京農業大学	2	4	4
武蔵野大学	0	1	2
明治学院大学	5	2	3
近畿大学	0	1	0
立命館アジア太平洋大学	0	1	0
共立女子大学	0	1	0
東京女子大	1	1	0
東洋英和女学院大学	1	0	0
日本女子大学	0	1	1
北里大学	3	4	2
昭和大学	1	2	0
昭和薬科大学	0	0	2
東京慈恵会医科大学	0	1	0
東京薬科大学	0	0	3
星薬科大学	2	2	2
多摩美術大学	0	0	1
桐朋学園大学	0	1	0
その他の私立大学	2	0	1
小計	40	49	40
進学率(%)	20.0	21.3	20.1
私立大学等合計	126	138	123
私立大学進学率(%)	63.0	60.0	61.8

資料編　部活動

部活動名		中学			高校			合計	週あたりの活動日数				合宿	主な活動場所
									中学		高校			
		男子	女子	合計	男子	女子	合計		男子	女子	男子	女子		
運動部	陸上競技部	28	26	54	26	15	41	95	5日	5日	6日	6日		陸上グラウンド
	野球部	20	0	20	14	2	16	36	5日	5日	6日	6日	○	野球場
	卓球部	28	18	46	17	2	19	65	5日	5日	6日	6日	○（高校のみ）	第2体育館
	硬式庭球部	62	35	97	36	38	74	171	5日	5日	5日	5日		テニスコート 屋外集会場
	バレーボール部	13	20	33	16	10	26	59	5日	5日	5日	5日	○	第1体育館
	バスケットボール部	41	29	70	13	19	32	102	5日	5日	5日	5日	○	第1体育館 屋外集会場
	剣道部	4	6	10	12	8	20	30	5日	5日	6日	6日	○	剣道場
	水泳競技部	16	16	32	12	2	14	46	5日	5日	6日	6日		50mプール
	サッカー部	51	0	51	55	0	55	106	5日	-	6日	-	○	陸上グラウンド サッカー・ラグビー場
	なぎなた部	7	23	30	2	18	20	50	5日	5日	6日	6日		第3体育館
学芸部	歴史研究部	1	2	3	8	3	11	14	4日	4日	4日	4日	○	国社研修室 コンピュータ教室
	音楽部	8	67	75	17	59	76	151	5日	5日	6日	6日	○	リハーサル室1・2 第3体育館
	美術部	3	9	12	2	4	6	18	5日					第2美術室
	漫画研究部	0	10	10	1	10	11	21	4日					第1美術室
	理科部	20	5	25	17	18	35	60	5日				○	理科実験室
	囲碁・将棋部	16	0	16	13	1	14	30	5日				○	和　室
	演劇部	6	22	28	2	13	15	43	5日				○	AVスタジオ
	技術工作部	22	6	28	9	1	10	38	5日					技術教室・被服室 コンピュータ教室
入部生徒数		346	294	640	272	223	495	1135						
在籍生徒数		355	311	666	347	276	623	1289						
入部率		97%	95%	96%	78%	81%	79%	88%						

数字は生徒数　　2018年2月28日現在

中学生は17時30分、高校生は18時が完全下校になります。
中学生の活動は原則として週5日以内とし、週に2日の活動しない日を設けています。
夏季や冬季の休業中の補習・講習期間の活動は、午前中に補習・講習を行い、部活動は午後に行います。

資料編　6年間総費用

（単位：円）

中1	入学金	230,000
	授業料	560,000 ※
	施設設備資金	180,000 ※
	生徒会費（入会金）	1,000
	生徒会費（年会費）	4,000
	学年活動費	47,000
	校外学習費	42,000
	Breakthrough English Camp費	42,000
	緑会（PTA）費	11,000 ＊
	年間総額	1,117,000
中2	授業料	560,000 ※
	施設設備資金	180,000 ※
	タブレットPC一式（本体、アプリ、保険）費	約150,000
	生徒会費（年会費）	4,000
	学年活動費	26,000
	校外指導費	90,000
	Breakthrough English Camp費	42,000
	緑会（PTA）費	11,000 ＊
	年間総額	1,063,000
中3	授業料	560,000 ※
	施設設備資金	180,000 ※
	生徒会費（年会費）	4,000
	学年活動費	26,000
	校外学習費	90,000
	Breakthrough English Camp費	42,000
	緑会（PTA）費	11,000 ＊
	年間総額	913,000
高1	入学金	不要
	授業料	610,000 ※
	施設設備資金	180,000 ※
	生徒会費（年会費）	4,000
	学年活動費	26,000
	校外学習費	90,000
	緑会（PTA）費	11,000 ＊
	年間総額	921,000
高2	授業料	610,000 ※
	施設設備資金	180,000 ※
	生徒会費（年会費）	4,000
	学年活動費	22,000
	校外学習費	22,000
	緑会（PTA）費	11,000 ＊
	年間総額	849,000
高3	授業料	610,000 ※
	施設設備資金	180,000 ※
	生徒会費（年会費）	4,000
	学年活動費	20,000
	校外学習費	15,000
	緑会（PTA）費	11,000 ＊
	年間総額	840,000
6年間総費用		5,703,000

生協販売会価格（消費税8%込）（単位：円）

制服・体育用品等	男子	女子
ブレザー	26,900	23,550
冬スラックス／無地スカート	10,790	14,040
夏スラックス／無地スカート	10,350	11,780
長袖白シャツ（標準品）	3,100	3,000
半袖白ボタンダウンシャツ	4,270	4,150
ネクタイ	2,200	2,200
ハイソックス		900
上履き	1,680	1,680
体育館履き	4,082	4,082
指定靴袋	566	566
トレーニングシャツ	5,966	5,966
トレーニングパンツ	4,526	4,526
Tシャツ	1,750	1,750
水着セット（水着・帽子）	2,057	4,217
合計	78,237	82,407

※2018年度より女子制服としてスラックスも採用することにしました。
デザインや価格などの詳細については、5月頃にお知らせ予定です。

※授業料・施設設備資金は二期分納・月分納も可

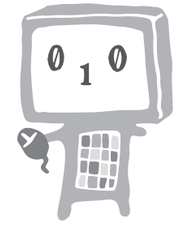
二期分納　4・10月

	中学	高校
授業料	280,000円	305,000円
施設設備資金	90,000円	90,000円
合計	370,000円	395,000円

月分納　4・10月

		中学	高校
	授業料	50,000円	55,000円
	施設設備資金	90,000円	90,000円
	合計	140,000円	145,000円
他の月	授業料	46,000円	50,000円のみ

4月に「生徒会費・学年活動費・校外学習費・Breakthrough English Camp費」が、5月に「緑会（PTA）費」が、それぞれ授業料・施設設備資金と合わせて引き落としされます。
▶P. 8
＊在校生の弟妹の緑会費は年間は5,000円



資料編　2018年度学校暦

4月

日	曜	項目
1	日	春季休業
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	前期始業式・着任式／入学式準備
10	火	入学式10:00～(高校生自宅学習)
11	水	実力テスト(中2～高2) 新入生オリエンテーション①
12	木	新入生オリエンテーション②
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	尿検査(一次)
25	水	
26	木	健康診断
27	金	
28	土	
29	日	昭和の日
30	月	振替休日

中1・高1保護者会(14日)
中2・高2保護者会(21日)
中3・高3保護者会(28日)

5月

日	曜	項目
1	火	
2	水	
3	木	憲法記念日
4	金	みどりの日
5	土	こどもの日
6	日	
7	月	生徒総会①
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	計算コンテスト 中1① 中2①
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	創立記念日
16	水	
17	木	
18	金	英単語コンテスト①
19	土	部活動保護者会　緑会総会
20	日	
21	月	防災訓練①
22	火	
23	木	
24	水	
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	前期中間考査
30	水	前期中間考査
31	木	前期中間考査

海外交流・トクソ高校来校(姉妹校交流会)(19日)

本校主催大学説明会
尿検査(2次)

6月

日	曜	項目
1	金	前期中間考査 文理適性検査(高1)　救命救急講習
2	土	緑萌会総会
3	日	
4	月	教育実習開始
5	火	高3模試(～6日)
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	高1学部学科説明会 自転車安全講習
12	火	
13	水	
14	木	
15	金	英単語コンテスト②
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	歌舞伎鑑賞教室(中3)
20	水	能楽鑑賞教室(高1)
21	木	
22	金	ミュージカル鑑賞教室(高2) 計算コンテスト 中3①
23	土	教育実習終了
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	

中1保護者会(16日)
TOEIC® IP(16日)
中2保護者会(23日)
高1選択科目説明会(25日)
中3授業参観／中3・高1保護者会(30日)

本校主催大学説明会

7月

日	曜	項目
1	日	
2	月	高1模試
3	火	高2模試
4	水	
5	木	高3模試(～6日)
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	
12	木	高2一日神大生
13	金	英単語コンテスト③
14	土	
15	日	
16	月	海の日
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	LHR(6限)
21	土	夏季休業
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	←講習・補習期間 (午前部活停止)
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	

高2選択科目説明会(2日)
高2・高3保護者会(7日)
高3保護者会(7日)
中2ファームスティ(27日～29日)

保護者面談(講習・補習期間)

8月

日	曜	項目
1	水	夏季休業
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	山の日
12	日	
13	月	←全館閉鎖期間
14	火	
15	水	
16	木	
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	←講習・補習期間 (午前部活停止)
23	木	
24	金	教科会(生徒登校停止)
25	土	教科会(生徒登校停止)
26	日	
27	月	授業開始
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	計算コンテスト 中1②

海外交流事業(韓国トクソ高校訪問)(19日～21日)

保護者面談(講習・補習期間)
語学研修

9月

日	曜	項目
1	土	
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	前期期末考査
8	土	前期期末考査
9	日	
10	月	前期期末考査
11	火	前期期末考査
12	水	
13	木	
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	敬老の日
18	火	
19	水	高3模試(18日放課後含む)
20	木	(体育大会準備 6限～)
21	金	体育大会(雨天時：くすのき祭準備)
22	土	【成績処理日】 (生徒自宅学習・部活動停止)
23	日	秋分の日
24	月	振替休日
25	火	【成績会議】 (生徒自宅学習・部活動停止)
26	水	くすのき祭準備(体育大会予備日)
27	木	くすのき祭準備
28	金	くすのき祭準備
29	土	くすのき祭
30	日	くすのき祭

高3センター試験出願説明会(3日)
高3推薦入試校内出願締切(20日)
高3センター試験校内出願締切(20日)

前期授業日数
中1：111日　中1以外：112日

10月

日	曜	項目
1	月	後片づけ　前期終業式
2	火	[振替休日/9月30日]
3	水	
4	木	前期末休業
5	金	
6	土	教科会(生徒登校停止)
7	日	
8	月	体育の日
9	火	後期始業式(1限)
10	水	
11	木	教育実習開始
12	金	英単語コンテスト④
13	土	入試説明会①(10:45～)
14	日	
15	月	
16	火	高3模試(～17日)
17	水	
18	木	
19	金	計算コンテスト 中2② 中3②
20	土	入試説明会②(10:45～) ③(13:45～)
21	日	
22	月	
23	火	
24	水	
25	木	
26	金	防災訓練②(6限) 計算コンテスト中1③
27	土	入試説明会④(10:45～)⑤(13:45～)
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	教育実習終了

中3授業公開日(27日)

中2地域調査(10月中旬～下旬)
高2地域貢献の日(未定)

11月

日	曜	項目
1	木	
2	金	
3	土	文化の日
4	日	
5	月	中学実力テスト【入試打合】 (午後生徒完全下校・部活動停止)
6	火	高1模試
7	水	高3模試(～8日) 入試説明会⑥(10:45～)
8	木	
9	金	高2模試
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	
15	木	入試説明会⑦(10:45～)
16	金	英単語コンテスト⑤
17	土	中3神奈川大学見学会
18	日	
19	月	開校記念日
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	勤労感謝の日
24	土	[振替休日／開校記念日振替]
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	

中3授業参観(9・10日)
中3・高2保護者会(10日)
中2・高1保護者会(17日)
神奈川大学推薦入試(第1期)

中1地域調査

12月

日	曜	項目
1	土	
2	日	
3	月	後期中間考査
4	火	後期中間考査
5	水	後期中間考査
6	木	後期中間考査
7	金	
8	土	入試説明会⑧(10:45～)
9	日	
10	月	
11	火	
12	水	
13	木	
14	金	高3特別時間割(～20日)
15	土	
16	日	
17	月	中2・中3・高1校外学習(～20日)
18	火	中1 Breakthrough English Camp(～20日)
19	水	
20	木	
21	金	冬季休業
22	土	
23	日	天皇誕生日
24	月	←講習・補習期間
25	火	(午前部活停止)
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	

中1・高3保護者会(1日)

1月

日	曜	項目
1	火	元日　冬季休業
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	授業開始
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	英単語コンテスト⑥
12	土	漢字検定
13	日	
14	月	成人の日
15	火	高3センタープレ(～16日)
16	水	
17	木	
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	中2福祉体験【入試打合】 (放課後生徒完全下校・部活動停止)
22	火	高2模試(～23日)
23	水	高1模試
24	木	
25	金	中3実力テスト
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	中2 Breakthrough English Camp(～31日)
30	水	
31	木	

高3大学入試センター試験(19日・20日)
高3大学入試センター試験自己採点(21日)
GTEC(中2)

2月

日	曜	項目
1	金	入試準備(4限～)
2	土	中学入試A日程・A日程発表 (生徒自宅学習／～5日)
3	日	中学入試B日程・B日程発表
4	月	A・B日程書類交付
5	火	中学入試C日程・C日程発表
6	水	(振替休日／2月3日)
7	木	
8	金	計算コンテスト中1④ 中2③ 中3③
9	土	
10	日	
11	月	建国記念の日/入学事務手続日・入学者登校日
12	火	
13	水	高2模試(～14日)
14	木	
15	金	卒業認定会議
16	土	
17	日	
18	月	生徒総会②／生徒会選挙立会演説会
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	
23	土	中1・中3リソース・ティーチャー
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	卒業式準備
28	木	卒業式予行(高3)

中1・高1保護者会(16日)
中3・高2保護者会(23日)
TOEIC Bridge®(23日)
GTEC(中1、中3・高1、高2)

3月

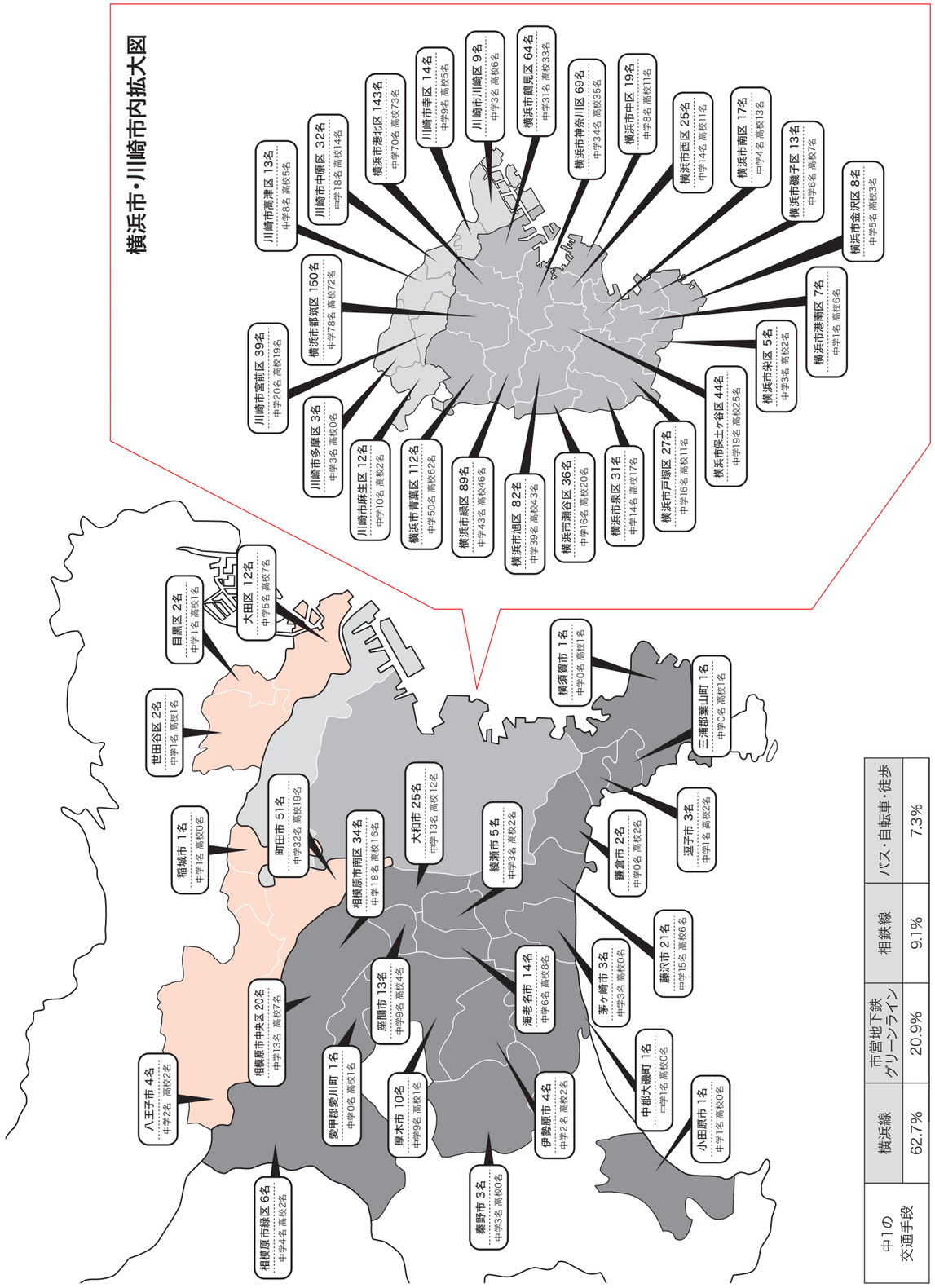
日	曜	項目
1	金	卒業式10:00～(中学生自宅学習)
2	土	
3	日	
4	月	後期期末考査
5	火	後期期末考査
6	水	後期期末考査
7	木	後期期末考査
8	金	成績処理日 (生徒自宅学習・部活動停止)
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	合唱コンクール(中) 高1・高2 OB・OG懇談会
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	【成績処理日】(生徒自宅学習・部活動停止)
19	火	【成績会議】(生徒自宅学習・部活動停止)
20	水	後期終業式・離任式
21	木	春分の日　後期末休業 中3 Breakthrough English Camp(～24日)
22	金	
23	土	←講習・補習期間
24	日	(午前部活停止)
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

中2保護者会(2日)
神奈川大学推薦入試(第Ⅱ期)

国内・海外研修

後期授業日数
高3：106日　高3以外：122日

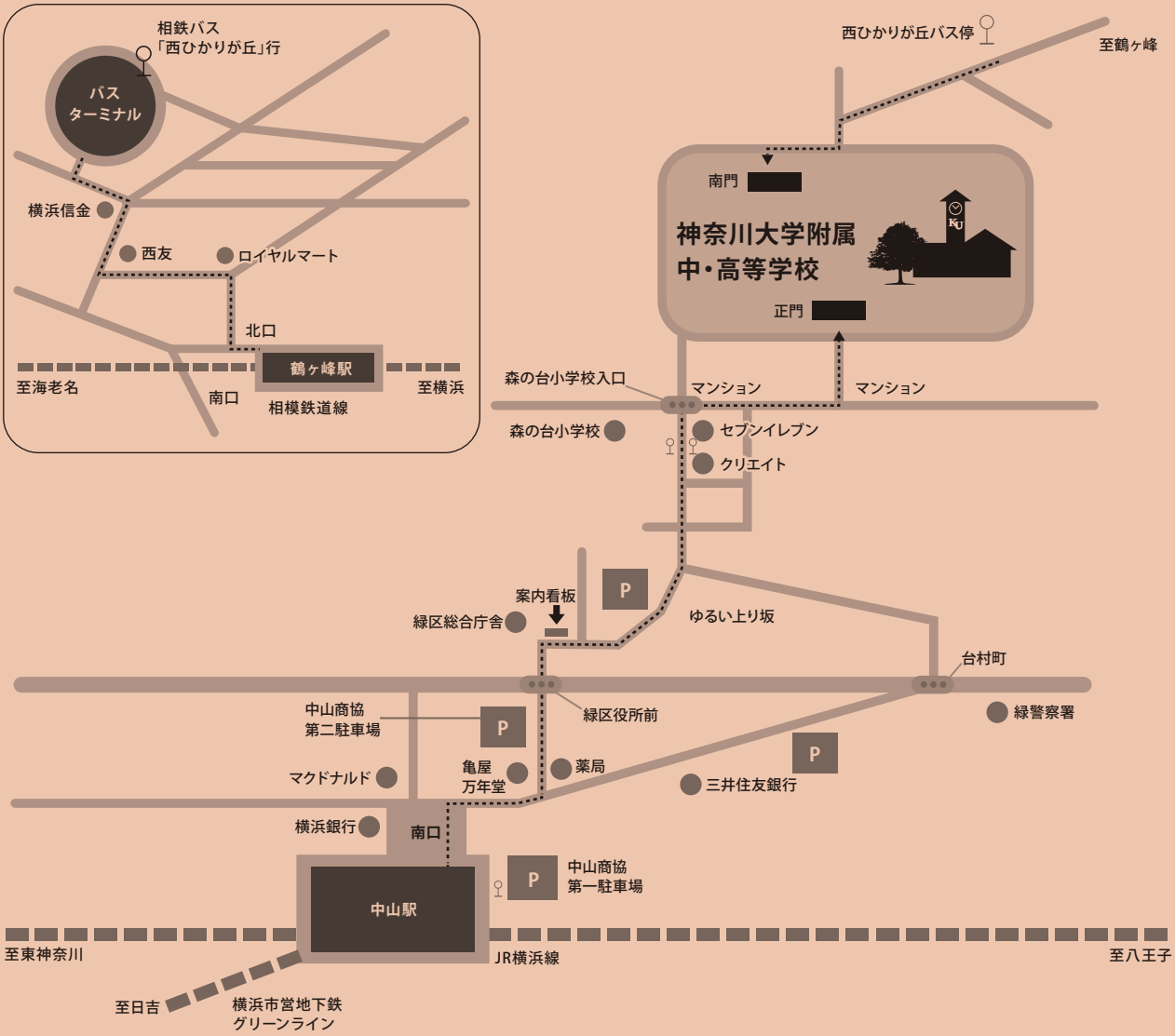
資料編　在校生の通学地域　在籍 1,303名（2018年度）



中1の交通手段	横浜線	市営地下鉄グリーンライン	相鉄線	バス・自転車・徒歩
	62.7%	20.9%	9.1%	7.3%

MEMO

MEMO



駅からのアクセス

●JR横浜線／横浜市営地下鉄グリーンライン

▶「中山駅」下車南口
→徒歩15分（約1km）

▶ **横浜市営バス「240系統」**
森の台・台村循環中山駅前行
「森の台小学校入口」下車
徒歩３分

▶ **相鉄バス「旭15」**
鶴ヶ峰駅行
「森の台小学校入口」下車
徒歩3分

●相模鉄道線「鶴ヶ峰駅」下車北口

▶ **相鉄バス「旭11、旭15」**
「西ひかりが丘」（約２０分）下車
徒歩3分

※お車でのご来校はお断りしております。

〒226-0014　横浜市緑区台村町800
TEL：045-934-6211　FAX：045-934-6509
Eメールアドレス：highschool@kanagawa-u.ac.jp